

令和6年度  
山口県学力定着状況確認問題  
～結果報告資料～

令和6年11月

山口県教育庁義務教育課

## 目 次

I	実施概要	..... P	1
II	教科の問題に関する結果	..... P	3
III	児童生徒質問調査の結果	..... P	17
IV	学力向上に向けた今後の取組	..... P	45

# I 実施概要

## 1 目的

児童生徒の客観的な学力状況の経年的な把握と分析を通して、課題解決に向けた指導の工夫改善等の取組の充実を図る全県的な検証改善サイクルを確立し、県内全ての児童生徒の学力の確実な定着と向上を図る。さらに、C B T\*<sup>1</sup>で実施することにより、児童生徒の発達の段階に応じた情報活用能力\*<sup>2</sup>、デジタル読解力等の資質・能力の育成を図る。

\*1 C B T…Computer Based Testing の略。コンピュータで実施する調査のこと。

\*2 情報活用能力…本調査をC B Tで実施することで児童生徒に育成できる力の一つ  
「情報技術は人々の生活にますます身近なものとなっていくと考えられるが、そうした情報技術を手段として学習や日常生活に活用できるようにしていくことも重要」

「情報活用能力は、各教科等の学びを支える基盤であり、これを確実に育てていくためには、各教科等の特質に応じて適切な学習場面で育成を図ることが重要」

「小学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説 総則編（平成 29 年 7 月）」

「中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説 総則編（平成 29 年 7 月）」

## 2 実施期間

令和 6 年 10 月 11 日（金）～10 月 16 日（水）小学校第 6 学年、中学校第 2 学年

令和 6 年 10 月 16 日（水）～10 月 18 日（金）小学校第 5 学年、中学校第 1 学年

※ 学校の実情に応じて、各期間で実施することとし、一日の実施教科数、実施教科の順序等は、各学校が定める。

## 3 実施内容

### （1）実施対象等

学 年		実施人数	内 容（時 間）
小 学 校	第 5 学年	9,760 人	国語、算数、理科(各 40 分)及び質問
	第 6 学年	9,901 人	国語、算数(各 40 分)及び質問
中 学 校	第 1 学年	9,360 人	国語、数学(各 45 分)及び質問
	第 2 学年	9,658 人	国語、数学、理科、英語(各 45 分)及び質問

### （2）教科の問題について

○以下の①、②による総合的な問題とし、記述式の問題を一定の割合で出題する。

①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能などを中心とした問題

②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などに関わる内容を中心とした問題

○問題は、調査実施時点までに学習していると想定される範囲とし、問題の程度は、対象学年までの学習指導要領を基準とする。

### (3) 質問調査について

○学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する内容を問うものとする。

#### 【データの処理について】

##### ○各学年の実施人数について

・教科調査及び質問調査を実施した児童生徒数の最大値を示している。

##### ○平均正答率の算出方法について

・問題を実施した全ての児童生徒の解答結果から算出している。

## II 教科の問題に関する結果

### 1 結果概要

#### (1) 平均正答率

##### ①小学校

	国 語	算 数	理 科
第5学年	69.1%	55.3%	53.8%
第6学年	64.8%	49.2%* <sup>1</sup>	

\* 1…4 (4) を採点対象外とした場合

##### ②中学校

	国 語	数 学	理 科	英 語
第1学年	62.6%	58.6%		
第2学年	57.8%	52%	42.4%* <sup>2</sup>	46.8%

\* 2…1 (3) を採点対象外とした場合

#### (2) 各教科における成果と課題

成果…指導改善や学習改善が図られていると判断できるもの

〈以下のような問題により判断〉

○過去の調査で出題された類似問題と比較して、正答率が伸びていたり、解答類型に望ましい変化が見られたりした問題

◇施策上重要だと捉えられる問題で、正答率が80%以上の問題

課題…引き続き指導改善や学習改善が必要であると判断できるもの

〈以下のような問題により判断〉

●過去の調査で出題された類似問題と比較して、正答率が伸びていなかったり、解答類型に望ましい変化がなかったりした問題

◆施策上重要だと捉えられる問題で、正答率が30%以下の問題

※過去の調査…全国学力・学習状況調査、4月確認問題、県学力定着状況確認問題

#### 小学校国語

成果	課題
<p>○文中の主語と述語の関係を捉えること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・該当問題           <ul style="list-style-type: none"> <li>第5学年 大問3 (2) 正答率74.4%</li> <li>第6学年 大問3 (3) 正答率78.4%</li> </ul> </li> <li>・過去の類似問題           <ul style="list-style-type: none"> <li>R6全学調第6学年 大問3 (1) 正答率62.4% (山口県) 62.3% (全国)</li> <li>R5県調査第5学年 大問2 (3) 正答率27.4% (山口県)</li> </ul> </li> </ul> <p>【解答類型】※主語を選択する問題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・誤答だが述語と関連が強い言葉を選択…68.9%</li> <li>・それ以外の言葉を選択、無回答…3.7%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●目的や意図に応じて、取材内容をもとにして、自分の考えをまとめること</li> <li>・該当問題           <ul style="list-style-type: none"> <li>第6学年 大問1 (2) ② 正答率35%</li> </ul> </li> <li>・過去の類似問題           <ul style="list-style-type: none"> <li>R6全学調第6学年 大問2 (2) 正答率59.7% (山口県) 56.6% (全国)</li> </ul> </li> </ul>

小学校算数

成果	課題
<p>○道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・該当問題 第6学年 大問5(3) 正答率41.8%</li> <li>・過去の類似問題 R6全学調第6学年 大問4(3) 正答率31.3%(山口県) 31.0%(全国)</li> </ul>	<p>●◆折れ線グラフから必要な情報を読み取ること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・該当問題 第5学年 大問6(1) 正答率13.0%</li> <li>・過去の類似問題 R6全学調第6学年 大問5(3) 正答率42.0%(山口県) 44.0%(全国)</li> </ul>

小学校理科

成果	課題
<p>○種子の発芽の条件について、条件を制御しながら解決するための実験方法を考えること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・該当問題 第5学年 大問6(2) 正答率66.4%</li> <li>・過去の類似問題 R3県調査第5学年 大問7(1) 正答率60.8%(山口県)</li> </ul>	<p>●◆直列つなぎの回路の作り方を理解し、正しい回路を選ぶこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・該当問題 第5学年 大問3(2) 正答率18.9%</li> <li>・過去の類似問題 H30全学調第6学年 大問3(1) 正答率64.5%(山口県) 63.5%(全国)</li> </ul>

中学校国語

成果	課題
<p>○◇話し合いの中で、自分の聞きたいことに合わせて適切に質問すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・該当問題 第1学年 大問1(2) 正答率93.8% 第2学年 大問1(2) 正答率94%</li> <li>・過去の類似問題 R6全学調第3学年 大問1(1) 正答率63.9%(山口県) 63.2%(全国)</li> </ul>	<p>●◆感じたことや考えたことが読み手に伝わるように表現を吟味し、文章を書くこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・該当問題 第1学年 大問3(6) 正答率21.4% 第2学年 大問3(6) 正答率26.7%</li> <li>・過去の類似問題 R6全学調第3学年 大問3(4) 正答率48.8%(山口県) 49.3%(全国)</li> </ul>

中学校数学

成果	課題
<p>○平行四辺形の面積の求め方における底辺と高さの関係を理解すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・該当問題 第1学年 大問5(1) 正答率68.1%</li> <li>・過去の類似問題 R5全学調第6学年 大問4(2) 正答率18.2%(山口県) 20.8%(全国)</li> </ul>	<p>●◆グラフから数量の関係をとらえ、2つの数量の差を求める方法を説明すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・該当問題 第1学年 大問7 正答率26.8% 第2学年 大問5(2) 正答率37.8%</li> <li>・過去の類似問題 R6県4月確認問題第2学年 大問4(2) 正答率54.5%(山口県)</li> </ul>

中学校理科

成果	課題
<p>○光の直進の性質を理解し、壁に映る光の形と、光を反射させた鏡の位置を正しく捉えて答えること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・該当問題 第2学年 大問4(3) 正答率33.7%</li> <li>・過去の類似問題 R4全学調小学校第6学年 大問3(1) 正答率29.6%(山口県) 27.8%(全国)</li> </ul>	<p>●◆化学反応式と原子の個数を関連付けて理解し、正しく係数を当てはめること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・該当問題 第2学年 大問2(3) 正答率24.1%</li> <li>・過去の類似問題 R4全学調第3学年 大問3(1) 正答率79.1%(山口県) 80.1%(全国)</li> </ul>

中学校英語

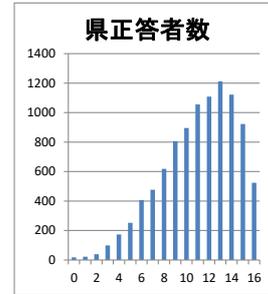
成果	課題
<p>○◇情報を正確に聞き取り、適切に応答すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・該当問題 第2学年 大問2(1) 正答率83%</li> <li>・過去の類似問題 R6県4月確認問題第2学年 大問2(2) 正答率70.1%(山口県)</li> </ul>	<p>●◆文脈に合うように、内容を考えて、基本的な文法事項を活用し英文を書くこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・該当問題 第2学年 大問6(2) 正答率8.2%</li> <li>・過去の類似問題 R6県4月確認問題第2学年 大問7(2) 正答率13.2%(山口県)</li> </ul>

小学校第5学年 国語

分類・区別設問数

全体平均正答率 69.1%

分類	区分	対象設問数 (問)	県全体正答率 (%)
学習指導要領の内容	知識及び技能	7	72.8
	話すこと・聞くこと	4	67.1
	思考力・判断力・表現力等	2	69.0
	書くこと	3	63.4
評価の観点	知識・技能	7	72.8
	思考・判断・表現	9	66.3
問題形式	選択式	15	70.8
	短答式		
	記述式	1	44.0



設問別集計結果

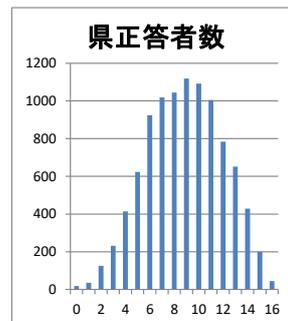
設問番号	出題の趣旨	主に学習する学年	学習指導要領の内容			評価の観点		問題形式			関連するやまぐち学習支援プログラム問題	調査問題(令和6年度全国学力・学習状況調査)	県全体正答率(%)
			知識及び技能	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	知識・技能	思考・判断・表現	選択式	短答式			
1 (1)	目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすることができるかどうかをみる。	5		○			○	○			小5_書く_07_☆やまぐちっ子プラス書くこと1	大問2一	78.3
1 (2)	目的や意図に応じて、取材内容をもとにして、文章を構成することができるかどうかをみる。	5		○			○	○					59.7
1 (3) ①	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる。	3	○			○		○					79.1
1 (3) ②	文と文とのつながりを捉え、適切な接続語を用いることができるかどうかをみる。	4	○			○		○			小4_書く_01_接続語・文末表現		71.9
1 (4)	長い間使われてきた慣用句の意味を知り、日常生活でも使うことができるかどうかをみる。	5	○			○		○			小5_我が国の言語文化_01_慣用句・古文		88.1
2 (1)	目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討することができるかどうかをみる。	4		○			○	○				大問1一	62.9
2 (2) ①	必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えることができるかどうかをみる。	4		○			○	○			小5_話す聞く_09_☆やまぐちっ子プラス 話すこと・聞くこと1	大問1二	73.1
2 (2) ②	必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えることができるかどうかをみる。	4		○			○	○				大問1二	67.4
2 (3)	目的や意図に応じ、話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考えることができるかどうかをみる。	5		○			○	○			小5_話す・聞く_01_話し方1		65.0
2 (4)	日常よく使われる敬語を理解しているかどうかをみる。	5	○			○		○			小5_言葉の特徴や使い方_08_敬語1		76.3
3 (1)	場面の様子など、内容の大体を捉えることができるかどうかをみる。	2				○		○					72.7
3 (2)	文の中における主語と述語との関係を捉えることができるかどうかをみる。	3	○				○	○				大問3一	74.4
3 (3) ①	登場人物の気持ちや考え方を具体的に想像することができるかどうかをみる。	3				○		○					73.5
3 (3) ②	人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができるかどうかをみる。	5				○		○		○		大問3三	44.0
3 (4)	物語の学習で身に付けた読み方が、日常生活で読書をする際に役立つことに気付くことができるかどうかをみる。	5	○			○		○				大問3四	41.9
4 (1)	文字の組み立て方を理解することができるかどうかをみる。	3	○			○		○					78.0

小学校第5学年 算数

分類・区別設問数

全体平均正答率 55.3%

分類	区分	対象設問数 (問)	県全体正答率 (%)
学習指導要領の内容	数と計算	8	65.3
	図形	4	54.9
	測定・変化と関係	2	49.6
	データの活用	2	22.2
評価の観点	知識・技能	10	61.6
	思考・判断・表現	6	45.0
問題形式	選択式	12	63.1
	短答式	2	44.7
	記述式	2	19.3



設問別集計結果

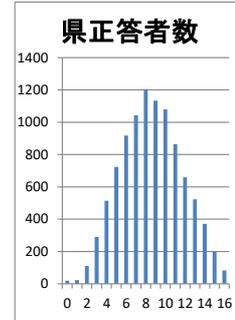
設問番号	出題の趣旨	主に学習する学年	学習指導要領の内容				評価の観点		問題形式			関連するやまぐち学習支援プログラム問題	関連する令和6年度全国学力・学習状況調査問題(小学校6年算数)	県全体正答率(%)
			数と計算	図形	測定・変化と関係	データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	選択式	短答式	記述式			
1 (1)	上から2桁の概数の意味を理解し、適切な数値で表すことができる。	4	○				○	○				小4_数と計算_02_およその数		76.4
1 (2)	もとの数の何倍、何分の1にあたる数の意味を理解し、小数を用いて表すことができる。	5	○				○	○				小5_数と計算_02_小数(1)		66.9
1 (3)	小数-小数の計算をすることができる。	4	○				○		○			小4_数と計算_04_小数		57.9
1 (4)	分数の意味を理解し、基準となる1を数直線上に表すことができる。	4	○				○	○				小4_数と計算_05_分数		90.9
2 (1)	整数のかけ算の考え方をもとに、小数をかける計算の方法を理解している。	5	○				○	○				小5_数と計算_03_小数(2)		68.1
2 (2)	単位量あたりの値段を求める計算の方法を理解している。	4	○				○	○				小5_数と計算_03_小数(2)		55.8
3 (1)	複合図形の面積について、式と図を関連付けて捉えることができる。	4		○				○	○			小4_図形_09_面積		43.9
3 (2)	複合図形の面積について、図と式を関連付けて捉えることができる。	4		○				○	○			小4_図形_09_面積		53.7
4 (1)	立方体の展開図を組み立てた時、重なり合う辺について理解している。	4		○			○	○				小4_図形_11_直方体と立方体		81.6
4 (2)	図形の合同について理解し、適切に判断することができる。	5		○				○	○			小5_図形_08_合同な図形		40.3
5 (1)	伴って変わる二つの数量の変化や特徴をとらえ、計算の仕方を説明することができる。	5			○			○		○		小5_変化と関係_12_比例		25.6
5 (2)	伴って変わる二つの数量の変化や特徴をとらえ、その関係を式に表すことができる。	4			○		○	○				小4_変化と関係_12_変わり方		73.6
6 (1)	折れ線グラフから必要な情報を読み取ることができる。	4				○	○			○		小4_データの活用_13_折れ線グラフ	大問5(3)	13.0
6 (2)	目的に応じてデータを分類整理することができる。	4				○	○		○			小4_データの活用_14_調べ方と整理の仕方		31.4
7 (1)	日常生活上の問題場面について、情報を整理し式に表すことができる。	4	○					○	○			小4_数と計算_24_☆やまぐち子プラス数と計算3		41.2
8 (1)	半具体物の操作から割り算の問題場面を想像し、判断することができる。	3	○					○	○			小3_数と計算_03_わり算		65.3

小学校第5学年 理科

分類・区別設問数

全体平均正答率 53.8%

分類	区分	対象設問数 (問)	県全体正答率 (%)
学習指導要領の内容	エネルギー	4	40.5
	粒子	2	41.6
	生命	6	64.3
	地球	4	57.3
評価の観点	知識・技能	10	54.4
	思考・判断・表現	6	52.7
問題形式	選択式	11	57.2
	短答式	3	48.2
	記述式	2	43.0

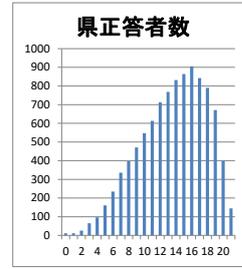


設問番号	出題の趣旨	主に学習する学年	学習指導要領の内容				評価の観点		問題形式			関連するやまぐち学習支援プログラム問題	県全体正答率(%)
			エネルギー	粒子	生命	地球	知識・技能	思考・判断・表現	選択式	短答式	記述式		
1 (1)	成虫の体は頭、胸及び腹からできていることを理解している。	3			○		○			○		小3_02_昆虫と植物 (R5解説追加)	47.7
1 (2)	生物は周辺環境と関わって生きていることを理解している。	3			○		○		○				97.3
2 (1)	太陽が東から昇り、影は太陽の光を遮るものがあると太陽の反対側にあることを理解している。	3				○	○		○			小3_05_太陽と地面のようす (R5解説追加)	42.1
2 (2)	太陽が東から南、西へと変化することと影の位置が太陽の位置とともに変わることに関連付けて影の位置を推測することができる。	3				○		○	○			小3_05_太陽と地面のようす (R5解説追加)	47.2
3 (1)	回路に流れる電流の向きや大きさから、かん電池のつなぎ方を推測することができる。	4	○					○	○			小4_08_電気のはたらき	58.6
3 (2)	2個のかん電池を直列つなぎにした時に回路に流れる電流が並列つなぎより大きくなることと、直列つなぎの回路の作り方を理解している。	4	○				○		○			小4_11_☆やまぐちっ子プラス 電流の働き	18.9
4 (1)	月の位置を観察する際の方法について理解している。	4				○	○		○			小4_05_月と星 (R5解説追加)	70.8
4 (2)	時間とともに見える位置が変わる半月の動き方について、正しく方位を理解している。	4				○	○		○			小4_05_月と星 (R5解説追加)	69.2
5 (1)	温度によって金属の体積がどのように変わるかを正しく理解している。	4		○				○	○			小4_13_☆やまぐちっ子プラス ものの体積と温度 (R3作成)	56.5
5 (2)	自然の事象・現象から得た情報を、他者の気づきの視点で分析して、解釈し、自分の考えを持ち、その内容を記述できる。	4		○			○			○			26.8
6 (1)	種子の発芽の条件について、条件を制御しながら解決するための実験方法を考えることができる。	5			○			○			○	小5_02_植物の発芽と成長 小5_11_やまぐちっ子プラス 植物の発芽	59.2
6 (2)	「空気あり、なし」の条件についての実験を想起し、水に沈める意図を理解している。	5			○			○		○		小5_02_植物の発芽と成長 小5_11_やまぐちっ子プラス 植物の発芽	66.4
7 (1)	メダカのおすとめすを区別するためのひれの名前を理解している。	5			○		○		○			小5_03_メダカのたんじょう	30.5
7 (2)	受精にかかわる用語を正しく使えている。	5			○		○		○			小5_03_メダカたんじょう	84.9
8 (1)	鏡で跳ね返した日光が直進することを位置関係などから推測することができる。	3	○					○	○			小3_01_光の性質	28.6
8 (2)	跳ね返した日光を重ねるほど、日光が当たったところはより温度が高くなることを理解している。	3	○					○	○			小3_01_光の性質	55.7

分類・区別設問数

全体平均正答率 64.8%

分類	区分	対象設問数 (問)	県全体正答率 (%)	
学習指導要領の内容	知識及び技能	7	64.7	
	思考力・判断力・表現力等	話すこと・聞くこと	5	68.5
		書くこと	4	65.0
		読むこと	5	61.3
評価の観点	知識・技能	7	64.7	
	思考・判断・表現	14	64.9	
問題形式	選択式	19	67.6	
	短答式			
	記述式	2	38.8	



設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主に学習する学年	学習指導要領の内容				評価の観点			問題形式			関連するやまぐち学習支援プログラム問題	調査する 令和6年度 小学校6年度 全国学力・ 学習状況	県全体 正答率 (%)
			知識及び技能	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	知識・技能	思考・判断・表現	選択式	短答式	記述式				
1	(1) 目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすることができるかどうかをみる。	5		○				○	○				大問2一	80.2	
1	(2) 目的や意図に応じて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる。	5		○				○	○			小5_書く_07_☆やまぐちっ子プラス書くこと1		69.8	
1	(2) 目的や意図に応じて、取材内容をもとにして、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。	5		○				○		○			大問2二	35.0	
1	(3) 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる。	3	○					○	○					53.2	
1	(3) 文と文とのつながりを捉え、適切な接続語を用いることができるかどうかをみる。	4	○					○	○			小4_書く_01_接続語・文末表現		79.6	
1	(3) 資料を使って、効果的に伝えることができるかどうかをみる。	5		○				○	○					74.8	
2	(1) 目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討することができるかどうかをみる。	4		○				○	○				大問1一	69.8	
2	(2) 必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えることができるかどうかをみる。	4		○				○	○				大問1二	76.7	
2	(2) 言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付くことができるかどうかをみる。	5	○					○	○			小5_話す聞く_09_☆やまぐちっ子プラス 話すこと・聞くこと1	大問1二	52.8	
2	(2) 必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えることができるかどうかをみる。	4		○				○	○					53.1	
2	(2) 目的や意図に応じ、話の内容を捉えて、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。	5		○				○	○					73.6	
2	(3) 目的や意図に応じ、話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考えることができるかどうかをみる。	5		○				○	○			小5_話す・聞く_01_話し方1		69.5	
2	(4) 日常よく使われる敬語を理解しているかどうかをみる。	5	○					○	○			小5_言葉の特徴や使い方_08_敬語1		80.8	
3	(1) 場面の様子など、内容の大体を捉えることができるかどうかをみる。	2			○			○	○					73.1	
3	(2) 叙述を基に、登場人物の気持ちを捉えることができるかどうかをみる。	3			○			○	○					68.2	
3	(2) 叙述を基に、登場人物の気持ちを捉えることができるかどうかをみる。	3			○			○	○					70.8	
3	(3) 文の中における主語と述語との関係を捉えることができるかどうかをみる。	3	○					○	○				大問3一	78.4	
3	(4) 表現の効果について、具体的に想像することができるかどうかをみる。	5			○			○	○					51.8	
3	(4) 人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができるかどうかをみる。	5			○			○	○	○			大問3三	42.6	
3	(5) 物語の学習で身に付けた読み方が、日常生活で読書をする際に役立つことに気付くことができるかどうかをみる。	5	○					○	○				大問3四	36.8	
4	(1) 文字の組み立て方を理解することができるかどうかをみる。	3	○					○	○					71.2	

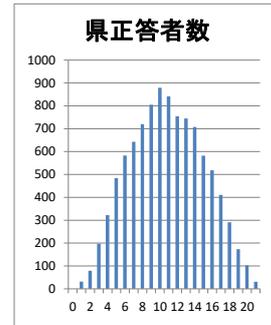
小学校第6学年 算数

全体平均正答率 51.7%

※4(4)を採点対象外として除いた平均正答率49.2%

分類・区分別設問数

分類	区分	対象設問数(問) ※4(4)を採点対象外とした場合	県全体正答率(%) ※4(4)を採点対象外とした場合
学習指導要領の内容	数と計算	9	61.5
	図形	6	34.9
	測定・変化と関係	4	48.7
	データの活用	2 ※1	63.6 ※27.2
評価の観点	知識・技能	12	60.4
	思考・判断・表現	9 ※8	40.0 ※32.5
問題形式	選択式	12	52.8
	短答式	7 ※6	57.7 ※50.6
	記述式	2	24.1



設問別集計結果

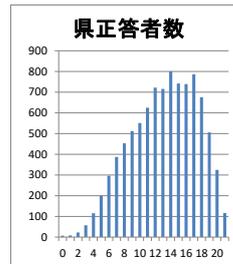
設問番号	出題の趣旨	主に学習する学年	学習指導要領の内容				評価の観点		問題形式			関連するやまぐち学習支援プログラム問題	調査問題(小学校6年度全国学力・学習状況調査)	県全体正答率(%)
			数と計算	図形	測定・変化と関係	データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	選択式	短答式	記述式			
1 (1)	上から2桁の概数の意味を理解し、適切な数値で表すことができる。	4	○				○	○				小4_数と計算_02_およその数		76.6
1 (2)	もとの数の何倍、何分の1にあたる数の意味を理解し、小数を用いて表すことができる。	5	○				○	○				小5_数と計算_02_小数(1)		72.6
1 (3)	小数-小数の計算をすることができる。	4	○				○		○			小4_数と計算_04_小数		74.7
1 (4)	分数の意味を理解し、基準となる1を数直線上に表すことができる。	4	○				○		○			小4_数と計算_05_分数		94.1
2 (1)	重さの単位を換算することができる。	4	○				○		○			小4_数と計算_04_小数		63.9
2 (2)	条件を基に、単位を換算して立式をすることができる。	3	○				○	○				小4_数と計算_07_式と計算の順じよ		33.0
2 (3)	条件を基に、適切に余りの処理をすることができる。	3	○					○	○			小3_数と計算_03_わり算		17.0
3 (1)	図形の構成要素として、六角柱の辺の数について理解している。	5		○			○		○			小5_図形_10_角柱と円柱		76.1
3 (2)	六角柱の底面の辺の数と全ての辺の数の関係を、文字を使った式に表すことができる。	6		○				○	○			小6_数と計算_03_文字を用いた式		24.1
4 (1)	百分率による割合の表し方を理解し、日常生活の中で用いられている百分率と関連付けることができる。	5			○		○	○				小5_変化と関係_13_割合		57.1
4 (2)	折れ線グラフから必要な数値を読み取り、データの特徴や傾向を見いだすことができる。	4				○		○	○			小5_データ活用_19_やまぐち子プラスデータ活用	大問5(3)	27.2
4 (3)	値段を大きくみて、見積もることを理解している。	4	○					○	○			小4_数と計算_19_やまぐち子プラス数と計算2		55.7
4 (4)	示された情報を基に、表から必要な数値を読み取って、基準値を超えるかどうかを判断することができる。	4				○		○	○			小4_数と計算_14_調べ方と整理の仕方		100 ※採点対象外
5 (1)	示された情報を基に、1Lあたりの走行距離(燃費)を求める式を理解している。	5			○		○	○				小5_変化と関係_11_単位数あたりの大きさ		48.2
5 (2)	値下げされた金額を求めることができる。	5			○		○		○			小5_変化と関係_20_やまぐち子プラス変化と関係		47.8
5 (3)	道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述することができる。	5			○			○	○			小5_変化と関係_14_速さ	大問4(3)	41.8
6 (1)	図形の合同の条件について理解している。	5		○			○	○				小5_図形_27_やまぐち子プラス図形		23.3
6 (2)	図形を構成する要素に着目して平行な関係を見出すとともに、台形の意味や性質について理解している。	4		○			○	○				小4_図形_10_四角形		57.7
6 (3)	底辺(よこ)の長さが等しいが面積の異なる2つの四角形について、辺の長さを基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述することができる。	5		○				○	○			小5_図形_06_面積		6.4
6 (4)	平行四辺形の作図方法と平行四辺形の性質とを関連付けて理解することができる。	4		○				○	○			小5_図形_10_四角形		21.9
7 (1)	等分除の考え方を理解している。	3	○					○	○			小3_数と計算_03_わり算		65.8

中学校第1学年 国語

分類・区別設問数

全体平均正答率 62.6%

分類	区分	対象設問数 (問)	県全体正答率 (%)	
学習指導要領の内容	知識及び技能	8	74.3	
	思考力・判断力・表現力等	話すこと・聞くこと	5	61.2
		書くこと	3	49.2
		読むこと	5	53.1
評価の観点	知識・技能	8	74.3	
	思考・判断・表現	13	55.3	
問題形式	選択式	19	66.6	
	短答式			
	記述式	2	24.7	



設問別集計結果

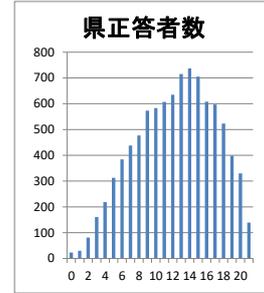
設問番号	出題の趣旨	主に学習する学年	学習指導要領の内容				評価の観点		問題形式			関連するやまぐち学習支援プログラム問題	調査問題(中学校3年度全国学力・学習状況)	県全体正答率(%)
			知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	知識・技能	思考・判断・表現	選択式	短答式			
1 (1)	修飾する言葉(擬態語等)について理解できるかどうかをみる。	小3	○				○	○				やまぐち学習プリント小3 ことば 修飾語		75.2
1 (2)	話し合いの中で、自分の聞きたいことに合わせて適切に質問することができるかどうかをみる。	中1		○				○	○				大間1	93.8
1 (3)	話し合いの中で、話し手の伝えたい内容や意図を、資料に書かれていることをふまえながら聞くことができるかどうかをみる。	中1		○				○	○			やまぐち学習プリント中1 話す・聞く		54.8
1 (4)	話し合いの中で、提案する発言をすることができるかどうかをみる。	中1		○				○	○					65.2
1 (5)	話し手の発言の特徴を捉えることができるかどうかをみる。	中1		○				○	○				大間1三	64.2
1 (6)	同訓異字(表す)を理解できるかどうかをみる。	小3	○				○		○					80.8
1 (7)	話し合いの流れをふまえながら、自分の考えが伝わるように表現を工夫して話すことができるかどうかをみる。	中1		○				○		○		やまぐち学習プリントプラス中1 話すこと・聞くこと		28.0
2 (1) ①	言葉の働きや意味(比喩)について理解することができるかどうかをみる。	小5	○				○		○					70.9
2 (1) ②	言葉の意味について、文脈を基に判断することができるかどうかをみる。	中1		○				○	○					69.3
2 (1) ③	工夫された表現を基に、場面の様子を想像することができるかどうかをみる。	中1		○			○	○	○					65.5
2 (2)	場面の展開をふまえ、人物像を捉えることができるかどうかをみる。	中1		○			○	○	○					53.9
2 (3) ①	叙述を基に、物語の全体像を捉えることができるかどうかをみる。	中1		○			○	○	○			やまぐち学習プリントプラス中1 読むこと		51.1
2 (3) ②	叙述を基に、登場人物の行動の意味を捉えることができるかどうかをみる。	中1		○			○	○	○					41.8
2 (3) ③	叙述を基に、登場人物の気持ちを捉えることができるかどうかをみる。	中1		○			○	○	○					53.4
3 (1)	目的や意図に応じて集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができるかどうかをみる。	中1		○				○	○			やまぐち学習プリント中1 書く	大間3一	58.5
3 (2)	感じたことや考えたことが読み手に伝わるように表現を吟味し、文章を書くことができるかどうかをみる。	中1		○				○	○					67.7
3 (3)	熟語の成り立ちについて理解できるかどうかをみる。	小5	○				○		○			やまぐち学習プリント小6 言葉の特徴や使い方 熟語の成り立ち		48.4
3 (4)	話し言葉と書き言葉との違いに気づき、話し言葉を書き言葉に改めることができるかどうかをみる。	小5	○				○		○					86.6
3 (5)	接続する語句の役割について理解できるかどうかをみる。	中1		○				○	○					85.1
3 (6)	感じたことや考えたことが読み手に伝わるように表現を吟味し、文章を書くことができるかどうかをみる。	中1		○				○		○		やまぐち学習プリントプラス中1 書くこと	大間3四	21.4
4 (1)	漢字の行書の基礎的な書き方を理解したり、ひらがなの成り立ちを理解したりできるかどうかをみる。	中1	○				○		○					78.4

中学校第1学年 数学

分類・区別設問数

全体平均正答率 58.6%

分類	区分	対象設問数 (問)	県全体正答率 (%)
学習指導要領の内容	数と式	9	58.2
	図形	6	61.0
	変化と関係	4	54.9
	データの活用	2	60.4
評価の観点	知識・技能	14	61.3
	思考・判断・表現	7	53.1
問題形式	選択式	11	65.0
	短答式	8	56.6
	記述式	2	31.6



設問別集計結果

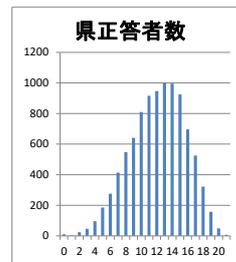
設問番号	出題の趣旨	主に学習する学年	学習指導要領の内容				評価の観点		問題形式			調査問題 (令和6年度 中学校3年 全国学力・ 学習状況 調査)	県全体正答率 (%)
			数と式	図形	変化と関係	データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	選択式	短答式	記述式		
1 (1)	分数の減法の計算ができる。	小5	○				○		○			小5_分数	82.3
1 (2)	分数の乗法の計算ができる。	小6	○				○		○			小6_分数	84.4
1 (3)	四則演算のきまりにしたがって計算できる。	1	○				○		○			1年_正の数・負の数	60.3
1 (4)	指数の計算方法を理解している。	中1	○				○	○				1年_正の数・負の数	57.9
1 (5)	正の数・負の数を使って、条件に合う数を求めることができる。	中1	○					○	○			1年_正の数・負の数	40.8
1 (6)	単位の関係をとらえ、条件に合う数量を求めることができる。	小6	○				○	○				小5_量と単位	45.5
2 (1)	一次式の減法の計算ができる。	中1	○				○		○			1年_文字を用いた式	27.3
2 (2)	数量の関係を不等式を使って表現することができる。	中1	○				○		○			1年_文字を用いた式	70.9
2 (3)	数量の関係をとりえ、条件に合う数量を求めることができる。	中1	○					○	○			1年_文字を用いた式	54.4
3 (1)	速さを比較することができる。	小5		○			○		○			小5_速さ	77.6 <small>小学校 大問4 (3)</small>
3 (2)	単位量あたりの大きさを比べる方法を理解している。	小5		○			○		○			小5_単位量あたりの大きさ	70.3
4 (1)	対称の軸の数に着目し、条件に合う図形を見つけることができる。	小6		○				○	○			小6_対称な図形	61.0
4 (2)	数量の関係をとりえ、条件に合う数量を求めることができる。	小6		○			○		○			小6_比	45.1
5 (1)	平行四辺形の面積の求め方における底辺と高さの関係を理解している。	小5		○				○	○			小5_面積	68.1
5 (2)	正多角形の特徴を理解している。	小5		○				○	○			小5_円と正多角形	31.3
5 (3)	円柱の底面と側面の関係や底面と高さの関係を理解している。	小5		○				○	○			小5_体積	69.9 <small>小学校 大問3 (2)</small>
6 (1)	立体の体積を求めることができる。	小5		○				○	○			小5_体積	58.0
6 (2)	立体の底面と高さの関係を判断することができる。	小5		○				○	○			小5_体積	77.8
7	グラフから必要な情報を読み取ることができる。	小6			○			○		○		小6_比例と反比例	26.8
8	円グラフと表を関連付けて割合を読み取ることができる。	小5			○			○	○			小5_割合	84.5
9	ドットプロットからデータの特徴を読み取ることができる。	小5			○			○		○		小6_資料の調べ方	36.4

中学校第2学年 国語

分類・区別設問数

全体平均正答率 57.8%

分類	区分	対象設問数 (問)	県全体正答率 (%)	
学習指導要領の内容	知識及び技能	8	73.0	
	思考力・判断力・表現力等	話すこと・聞くこと	5	63.5
		書くこと	3	55.6
		読むこと	5	29.2
評価の観点	知識・技能	8	73.0	
	思考・判断・表現	13	48.5	
問題形式	選択式	18	62.6	
	短答式	1	31.8	
	記述式	2	28.3	



設問別集計結果

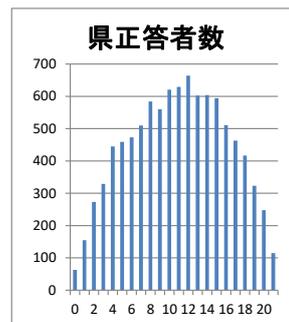
設問番号	出題の趣旨	主に学習する学年	学習指導要領の内容			評価の観点		問題形式			関連するやまぐち学習支援プログラム問題	調査問題(中学校3年度全国学力・学習状況調査)	県全体正答率(%)
			知識及び技能	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	知識・技能	思考・判断・表現	選択式	短答式			
1 (1)	修飾する言葉(擬態語等)について理解できるかどうかをみる。	小3	○				○	○	○		やまぐち学習プリント小3 ことば 修飾語		82.6
1 (2)	話し合いの中で、自分の聞きたいことに合わせて適切に質問することができるかどうかをみる。	中1		○				○	○			大間1	94.0
1 (3)	話し合いの中で、話し手の伝えたい内容や意図を、資料に書かれていることをふまえながら聞くことができるかどうかをみる。	中1		○				○	○		やまぐち学習プリント中1 話す・聞く		60.3
1 (4)	話し合いの中で、提案する発言をすることができるかどうかをみる。	中1					○	○					65.6
1 (5)	話し手の発言の特徴を捉えることができるかどうかをみる。	中1		○				○	○			大間1三	67.9
1 (6)	同訓異字(表す)を理解できるかどうかをみる。	小3	○				○	○					81.0
1 (7)	話し合いの流れをふまえながら、自分の考えが伝わるように表現を工夫して話すことができるかどうかをみる。	中1		○				○	○		やまぐち学習プリントプラス中1 話すこと・聞くこと		29.8
2 (1)	文節について理解することができるかどうかをみる。	中1	○					○	○		やまぐち学習プリント中2 言語事項② ステップ1		42.0
2 (2)	本文について整理された図から、関連した言葉を読み取ることができるかどうかをみる。	中2			○			○	○		やまぐち学習プリントプラス中1 読むこと		40.6
2 (3)	対義語について理解することができるかどうかをみる。	中2	○					○	○		やまぐち学習プリント中2 言語事項① ステップ3		49.3
2 (4)	文中の言葉の意味について読み取ることができるかどうかをみる。	中2			○			○	○				31.8
2 (5)	叙述を基に、文章の大体を捉えることができるかどうかをみる。	中2			○			○	○		やまぐち学習プリントプラス中1 読むこと		33.3
2 (6)	語句の文脈上の意味を理解することができるかどうかをみる。	中2			○			○	○				14.8
2 (7)	叙述を基に、文章全体の要旨を捉えることができるかどうかをみる。	中2			○			○	○				25.5
3 (1)	目的や意図に応じて集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができるかどうかをみる。	中1		○				○	○			大間3一	63.9
3 (2)	感じたことや考えたことが読み手に伝わるように表現を吟味し、文章を書くことができるかどうかをみる。	中1			○			○	○		やまぐち学習プリント中1 書く		76.3
3 (3)	熟語の成り立ちについて理解できるかどうかをみる。	小5	○					○	○		やまぐち学習プリント小6 言葉の特徴や使い方 熟語の成り立ち		69.9
3 (4)	話し言葉と書き言葉との違いに気づき、話し言葉を書き言葉に改めることができるかどうかをみる。	小5	○					○	○				90.1
3 (5)	接続する語句の役割について理解できるかどうかをみる。	中1	○					○	○				89.4
3 (6)	感じたことや考えたことが読み手に伝わるように表現を吟味し、文章を書くことができるかどうかをみる。	中1			○			○	○		やまぐち学習プリントプラス中1 書くこと	大間3四	26.7
4 (1)	漢字の行書の基礎的な書き方を理解したり、ひらがなの成り立ちを理解したりできるかどうかをみる。	中1	○					○	○				79.7

中学校第2学年 数学

分類・区分別設問数

全体平均正答率 52%

分類	区分	対象設問数 (問)	県全体正答率 (%)
学習指導要領の内容	数と式	13	58.3
	図形	4	43.9
	関数	2	40.1
	データの活用	2	38.8
評価の観点	知識・技能	17	58.3
	思考・判断・表現	4	25.1
問題形式	選択式	8	53.9
	短答式	11	54.3
	記述式	2	31.5



設問別集計結果

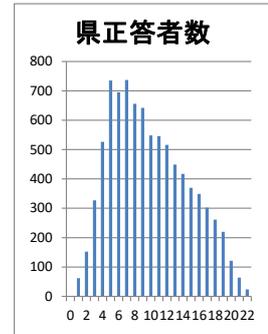
設問番号	出題の趣旨	主に学習する学年	学習指導要領の内容				評価の観点		問題形式			関連するやまぐち学習支援プログラム問題	調査問題 (中学校3年数学)	県全体正答率(%)
			数と式	図形	関数	データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	選択式	短答式	記述式			
1 (1)	分数の減法の計算ができる。	小5	○				○		○			小5_分数		83.1
1 (2)	四則演算のきまりにしたがって計算ができる。	中1	○				○		○			1年_正の数・負の数		75.5
1 (3)	一次式の減法の計算ができる。	中1	○				○		○			1年_文字を用いた式		65.0
1 (4)	単項式の除法の計算方法について理解している。	中2	○				○	○				2年_式の計算		82.1
1 (5)	条件に合う数量を文字を用いて表すことができる。	中2	○				○	○				2年_式の計算		60.7
2 (1)	数量を文字を用いて表すことができる。	中2	○				○	○				2年_式の計算		22.9
2 (2)	一次式の減法の計算ができる。	中2	○				○		○			2年_式の計算		65.7
2 (3)	比例式を理解して、式を作り解くことができる。	中1	○				○		○			1年_方程式		65.6
2 (4)	文字を用いた式が表している数量を読み取ることができる。	中1	○				○	○				1年_文字を用いた式		49.9
3 (1)	問題の条件に合う具体的な計算式を表すことができる。	中2	○				○		○			2年_文字式の利用		55.3
3 (2)	数量を文字を用いて表す及び文字を使った式について、目的に応じた式変形ができることができる。	中2	○					○	○			2年_文字式の利用	大問6 (2)	16.1
4 (1)	与えられた二元一次方程式の意味を理解している。	中2	○				○	○				2年_連立方程式		61.2
4 (2)	連立方程式を解くことができる。	中2	○				○		○			2年_連立方程式		54.7
5 (1)	グラフの特徴をとらえ、yとxの関係を式に表すことができる。	中1		○			○		○			1年_比例・反比例		42.4
5 (2)	グラフから数量の関係をとりえ、2つの数量の差を求める方法を説明することができる。	中1		○				○		○		1年_比例・反比例		37.8
6 (1)	空間図形における辺の位置関係を理解している。	中1		○			○	○				1年_空間図形		64.5
6 (2)	投影図から立体を判断できる。	中1		○			○	○				1年_空間図形		47.2
7 (1)	階級の幅を求めることができる。	中1				○	○		○			1年_データの活用		52.4
7 (2)	用語を用いてデータの特徴を説明することができる。	中1				○	○		○			1年_データの活用		25.3
8	【動画問題】 条件に合う作図の方法を説明することができる。	中1		○			○	○				1年_平面図形		42.8
9	【動画問題】 動画の場面と空間図形を関連付け、円柱の側面積を求めることができる。	中1		○			○		○			1年_空間図形		21.2

中学校第2学年 理科

全体平均正答率 45%  
※1(3)を採点対象外として除いた平均42.4%

分類・区別設問数

分類	区分	対象設問数(問) ※1(3)を採点対象外とした場合	県全体正答率(%) ※1(3)を採点対象外とした場合
学習指導要領の内容	エネルギー	3	31.4
	粒子	8	35.1
	生命	6	61.5
	地球	5 ※4	49.1 ※36.4
評価の観点	知識・技能	11	42.3
	思考・判断・表現	11 ※10	47.7 ※42.4
問題形式	選択式	14 ※13	54.3 ※50.8
	短答式	7	27.6
	記述式	1	36.0



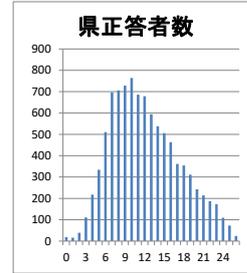
設問番号	出題の趣旨	主に学習する学年	学習指導要領の内容				評価の観点		問題形式			関連するやまぐち学習支援プログラム問題	県全体正答率(%) ※採点対象外
			エネルギー	粒子	生命	地球	知識・技能	思考・判断・表現	選択式	短答式	記述式		
1 (1)	初期微動継続時間の単語を理解している。	中1				○	○			○		中1_12_☆やまぐちっ子プラス 地震の伝わり方 (R3作成)	33.1
1 (2)	グラフを用いて地震発生の時刻を求めることができる。	中1				○	○			○		中1_12_☆やまぐちっ子プラス 地震の伝わり方 (R3作成)	27.3
1 (3)	地震の震度の大きさに関する要素を推論することができる。	中1				○	○	○				中1_12_☆やまぐちっ子プラス 地震の伝わり方 (R3作成)	100 ※採点対象外
2 (1)	質量保存の法則を確かめるための実験を、正しく行うために必要な方法を理解し、その内容を説明できる。	中2	○				○			○		中2_02_化学変化② (R5解説追加)	36.0
2 (2)	化学反応式のきまりを理解し、生成物を正しく記述することができる。	中2	○				○			○		中2_01_化学変化① 中2_02_化学変化② (R5解説追加)	27.8
2 (3)	化学反応式と原子の個数を関連付けて理解し、正しく係数を当てはめることができる。	中2	○				○			○		中2_01_化学変化① 中2_02_化学変化② (R5解説追加)	24.1
3 (1)	グラフから酸化銅を過不足なく反応させるための炭素の量を求めることができる。	中2	○				○			○		中2_01_化学変化① 中2_02_化学変化② (R5解説追加)	30.5
3 (2)	化学反応式の意味を正しく理解し、各原子の個数の比を用いて原子の個数を求めることができる。	中2	○				○			○		中2_01_化学変化① 中2_02_化学変化② (R5解説追加)	15.9
4 (1)	反射の法則を用いて、鏡に映る物体の位置を求めることができる。	中1	○				○		○			中1_02_光と音	49.4
4 (2)	自分の位置を俯瞰して捉え、すべての棒を見るための位置を正しく答えることができる。	中1	○				○	○				中1_02_光と音	11.3
4 (3)	光の直進の性質を理解し、壁に映る光の形と、光を反射させた鏡の位置を正しく捉えて答えることができる。	中1	○				○	○				中1_02_光と音	33.7
5 (1)	タンパク質が分解して体内に吸収されるとき物質名を理解している。	中2		○			○		○			中2_09_動物②	59.6
5 (2)	条件を正しく読み取り、ゼラチンと寒天の成分を理解した上で、実験結果を正しく考察することができる。	中2		○			○	○				中2_09_動物②	69.4
5 (3)	動画を基に、起きた現象と【新たな疑問】を関連付けて、それらを解決するための課題を設定することができる。	中2		○			○	○					62.3
5 (4)	質量パーセント濃度の求め方を理解し、固いゼリーをつくるための水とゼラチンの質量を求めることができる。	中1	○				○		○			中1_04_水溶液	34.2
6 (1)	地図の方角と日光の当たり方の関係を理解しており、建物の位置を踏まえて日当たりの良い、悪いを予想することができる。	中1		○			○	○					82.2
6 (2)	校舎の地図とまとめた文から、植物の性質を予想し、ある植物のが特定の場所で生えていない理由を考察することができる。	中1		○			○	○					53.4
6 (3)	植物の生えている場所を示した地図と植物の分布を正しく読み取ることができる。	中1		○			○	○					42.0
7 (1)	溶解度を理解し、物質の溶け方の違いを基に、溶けやすい物質を順に並べることができる。	中1	○				○		○			中1_04_水溶液	52.3
7 (2)	実験の意図を理解し、実験結果を基に分類の基準を答えることができる。	中1	○				○		○			中1_03_物質のすがた	60.1
8 (1)	地層の記録写真と観測地点付近の地図を関連付けて、地層が傾いている方位を答えることができる。	中1		○		○	○		○			中1_10_地層の重なりと過去の様子	48.8
8 (2)	地層を構成している粒の大きさから、過去の様子を考察することができる。	中1		○		○	○		○			中1_10_地層の重なりと過去の様子	36.2

中学校第2学年 英語

分類・区分別設問数

全体平均正答率 46.8%

分類	区分	対象設問数 (問)	県全体正答率 (%)
学習指導要領の内容	聞く	9	72.4
	読む	7	45.0
	書く	10	25.1
評価の観点	知識・技能	18	53.5
	思考・判断・表現	8	31.8
問題形式	選択式	19	57.4
	短答式	4	16.1
	記述式	3	21.3



設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主に学習する学年	学習指導要領の内容			評価の観点		問題形式			関連する やまぐち学習支援 プログラム問題	県全体正答率 (%)
			聞く	読む	書く	知識・技能	思考・判断・表現	選択式	短答式	記述式		
1 (1)	日常的な話題について、情報を正確に聞き取ることができる。	中1	○	○	○	○	○				中1英語_02_一般動詞 (R5解説追加)	52.8
1 (2)	日常的な話題について、情報を正確に聞き取ることができる。	中1	○	○	○	○	○				中1英語_04_一般動詞2 (R5解説追加)	83.0
1 (3)	日常的な話題について、情報を正確に聞き取ることができる。	中1	○	○	○	○	○				中1英語_02_03_名詞の複数形 (R5解説追加)	89.3
2 (1)	日常的な話題について、情報を正確に聞き取り、適切に応答することができる。	中1	○	○	○	○	○				中1英語_02_一般動詞 (R5解説追加)	83.0
2 (2)	日常的な話題について、情報を正確に聞き取り、適切に応答することができる。	中1	○	○	○	○	○				中1英語_07_命令文 (R5解説追加)	72.5
2 (3)	日常的な話題について、情報を正確に聞き取り、適切に応答することができる。	中1	○	○	○	○	○				中1英語_05_疑問詞で始まる疑問文	74.2
3 (1)	まとまりのある英語を聞いて、話の概要を聞き取ることができる。	中2	○	○	○	○	○				中1英語_05_疑問詞で始まる疑問文 中2英語_01_未来の文 (R4改訂)	68.8
3 (2)	まとまりのある英語を聞いて、話の概要を聞き取ることができる。	中2	○	○	○	○	○				中1英語_05_疑問詞で始まる疑問文 中2英語_01_未来の文 (R4改訂)	53.7
3 (3)	まとまりのある英語を聞いて、話の概要を聞き取ることができる。	中1	○	○	○	○	○				中1英語_08_現在進行形 (R5解説追加)	74.8
4	まとまりのある英文を聞いて、把握した内容について、適切に応じることができる。	中2	○	○	○	○	○				中1英語_16_☆やまぐちっ子プラス 書くこと (学校行事の発表原稿) 中2英語_12_☆やまぐちっ子プラス書くこと (ALTの先生とのやりとり)	17.9
5 (1)	基本的な語や文法事項を理解して、会話の中で適切に使うことができる。	中1	○	○	○	○	○				中1英語_09_canのある文/形容詞 (R5解説追加)	44.4
5 (2)	基本的な語や文法事項を理解して、会話の中で適切に使うことができる。	中2	○	○	○	○	○				中1英語_11_不規則動詞の過去形 (R4中2より移行)	65.6
6 (1)	文脈に合うように、内容を考えて、基本的な文法事項を活用し英文を書くことができる。	中1	○	○	○	○	○				中2英語_04_助動詞 (R4改訂)	23.5
6 (2)	文脈に合うように、内容を考えて、基本的な文法事項を活用し英文を書くことができる。	中2	○	○	○	○	○				中1英語_12_be動詞の過去形/過去進行形 (R4中2より移行)	8.2
7 (1)	メモなどの内容を踏まえて、基本的な文法事項を活用し英文を書くことができる。	中2	○	○	○	○	○				中2英語_13_☆やまぐちっ子プラス書くこと (紹介文の作成) (R4作成)	13.0
7 (2)	メモなどの内容を踏まえて、基本的な文法事項を活用し英文を書くことができる。	中2	○	○	○	○	○				中2英語_13_☆やまぐちっ子プラス書くこと (紹介文の作成) (R4作成)	19.6
8 (1)	身近な話題に関するまとまりのある英語を読んで、情報を正確に読み取ることができる。	中2	○	○	○	○	○				中2英語_10_☆やまぐちっ子プラス読むこと・書くこと (英語のチラシ)	27.6
8 (2)	身近な話題に関するまとまりのある英語を読んで、情報を正確に読み取ることができる。	中2	○	○	○	○	○				中2英語_10_☆やまぐちっ子プラス読むこと・書くこと (英語のチラシ)	36.6
8 (3)	文脈に合うように、内容を考えて、基本的な文法事項を活用し英文を書くことができる。	中2	○	○	○	○	○				中2英語_04_助動詞 (R4改訂)	12.9
9 (1)	社会的な話題に関するまとまりのある英語を読んで、話の要点を読み取ることができる。	中2	○	○	○	○	○				中2英語_17_☆やまぐちっ子プラス読むこと (要点を捉える1) (R4作成) 中2英語_10_☆やまぐちっ子プラス読むこと (要点を捉える2) (R4作成)	57.5
9 (2)	社会的な話題に関するまとまりのある英語を読んで、話の要点を読み取ることができる。	中2	○	○	○	○	○				中2英語_17_☆やまぐちっ子プラス読むこと (要点を捉える1) (R4作成) 中2英語_18_☆やまぐちっ子プラス読むこと (要点を捉える2) (R4作成)	44.4
9 (3)	社会的な話題に関するまとまりのある英語を読んで、情報を正確に読み取ることができる。	中2	○	○	○	○	○				中2英語_16_☆やまぐちっ子プラス読むこと (必要な情報を読み取る)	61.5
9 (4)	社会的な話題に関するまとまりのある英語を読んで、情報を正確に読み取ることができる。	中2	○	○	○	○	○				中2英語_16_☆やまぐちっ子プラス読むこと (必要な情報を読み取る)	47.9
10 (1)	身近な話題に関するまとまりのある英語を読んで、話の要点を読み取ることができる。	中2	○	○	○	○	○				中2英語_11_☆やまぐちっ子プラス読むこと・書くこと (日本のお正月)	39.6
10 (2)	身近な話題に関するまとまりのある英語を読んで、その内容に関する自分の考えを書くことができる。	中2	○	○	○	○	○				中2英語_11_☆やまぐちっ子プラス読むこと・書くこと (日本のお正月)	14.3
11	【動画問題】 動画に合うように内容を考えて、基本的な文法事項を活用し英文を書くことができる。	中2	○	○	○	○	○				中2英語_01_未来の文 (R4改訂)	31.7

### Ⅲ 児童生徒質問調査の結果

小学校	中学校	質問項目
1	1	授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいると思う。
2	2	(新) 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。
3	3	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていると思う。
4	4	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し（振り返り）、次の学習につなげることができていると思う。
5	5	授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していると思う。
6	6	(新) 授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっている。
7	7	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思う。
8	8	やまぐちっ子学習プリントなどのやまぐち学習支援プログラムを、どの程度使用していますか。
9	9	(新) 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思う。
10	10	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。
11	11	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか（学習塾で勉強をしている時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含まれます）。
12	12	国語の勉強が好きだ。
13		算数の勉強が好きだ。
	13	数学の勉強が好きだ。
14	14	理科の勉強が好きだ。
	15	英語の勉強が好きだ。
15	16	あなたは学校で、コンピュータなどのICT機器を、学級の友達と意見を交換する場面で、どの程度使用していますか。
16	17	(新) ICT機器を活用することで、自分のペースで理解しながら進めることができる。
17	18	(新) ICT機器を活用することで、友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる。

18	19	自分には、よいところがあると思う。
19	20	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。
20	21	(新) 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。
21	22	読書は好きですか。
22	23	(新) 1ヶ月に本（漫画を除く）を何冊ぐらい読みますか。
23	24	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。
24	25	地域や社会をよくするために何かすべきか考えることがありますか。
25	26	地域の人々と話し合う場（熟議）に参加して、発言したことがありますか。
26	27	(新) 学校で地域の大人が学ぶ姿を見て、自分も頑張ろうと思ったことがありますか。
27	28	今住んでいる地域の行事に参加していますか。
28	29	あなたの学校では、保護者や地域の人々が参加して新体カテストを行うなど、家庭と地域が一緒になって体力向上の取組を進めていますか。

次ページからの資料の示し方

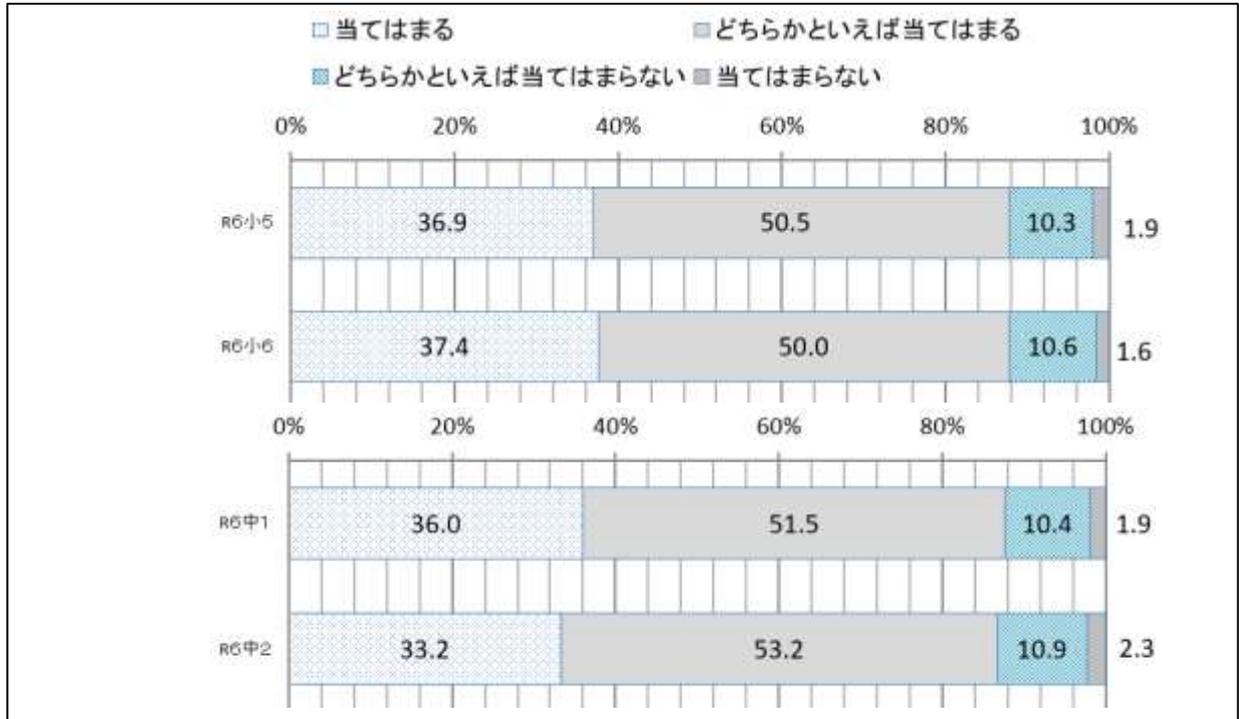
- ・ 資料上段…各質問に関する今回の調査結果
- ・ 資料下段…各質問と関連する過去の調査結果  
(過去の県学力学習状況確認問題との比較、令和6年度全国学力・学習状況調査結果)

質問ごとの結果（○：成果 △：一部成果 ●：課題）

【質問1】授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいると思う。

○ 同一学年で経年変化を見ると、肯定的な回答をした割合が増加している。

【今年度調査の結果】



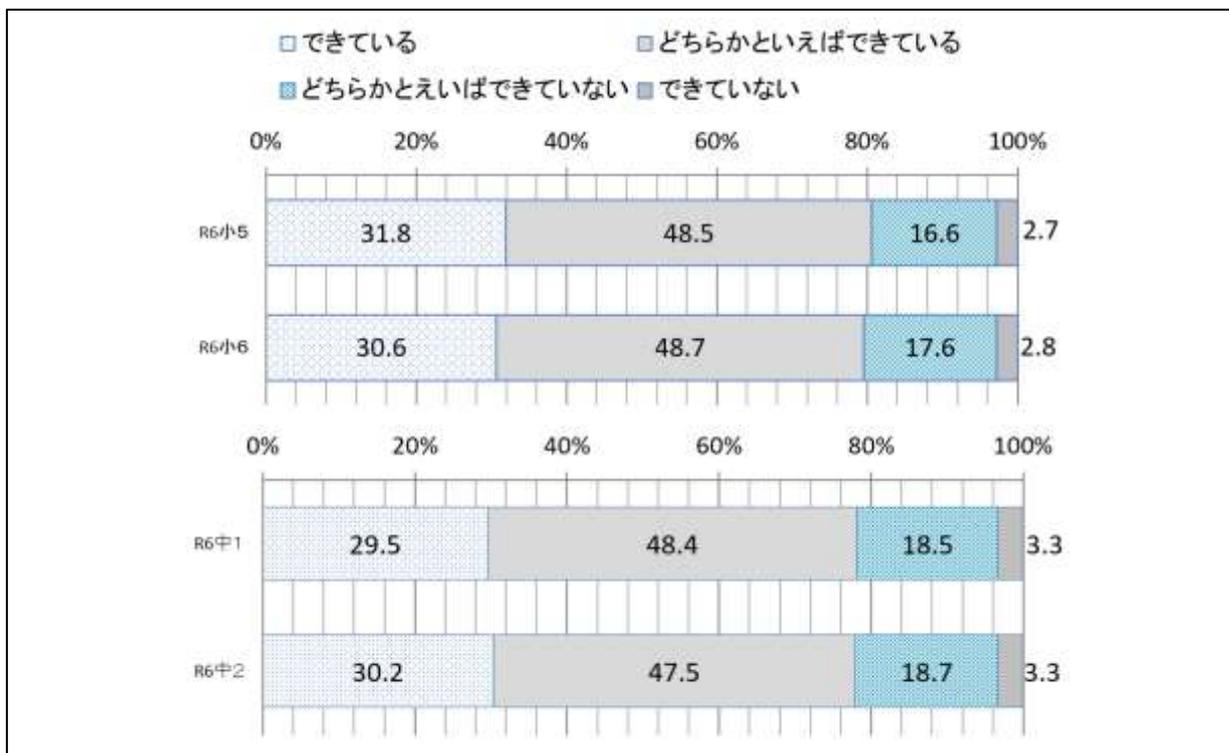
【同一児童生徒の経年比較】



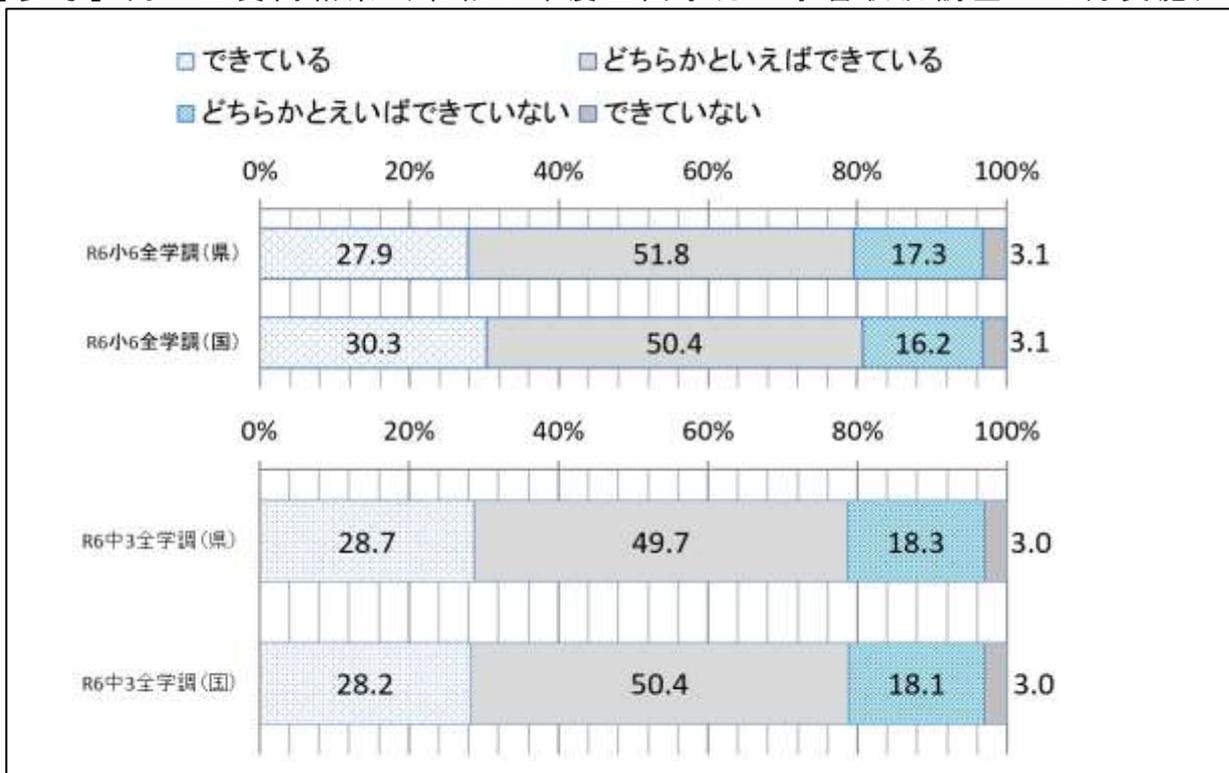
【質問2】分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。

△ 小6では、肯定的な回答をした割合が、令和6年度全国学力・学習状況調査の結果から大きな変化がない。

【今年度調査の結果】



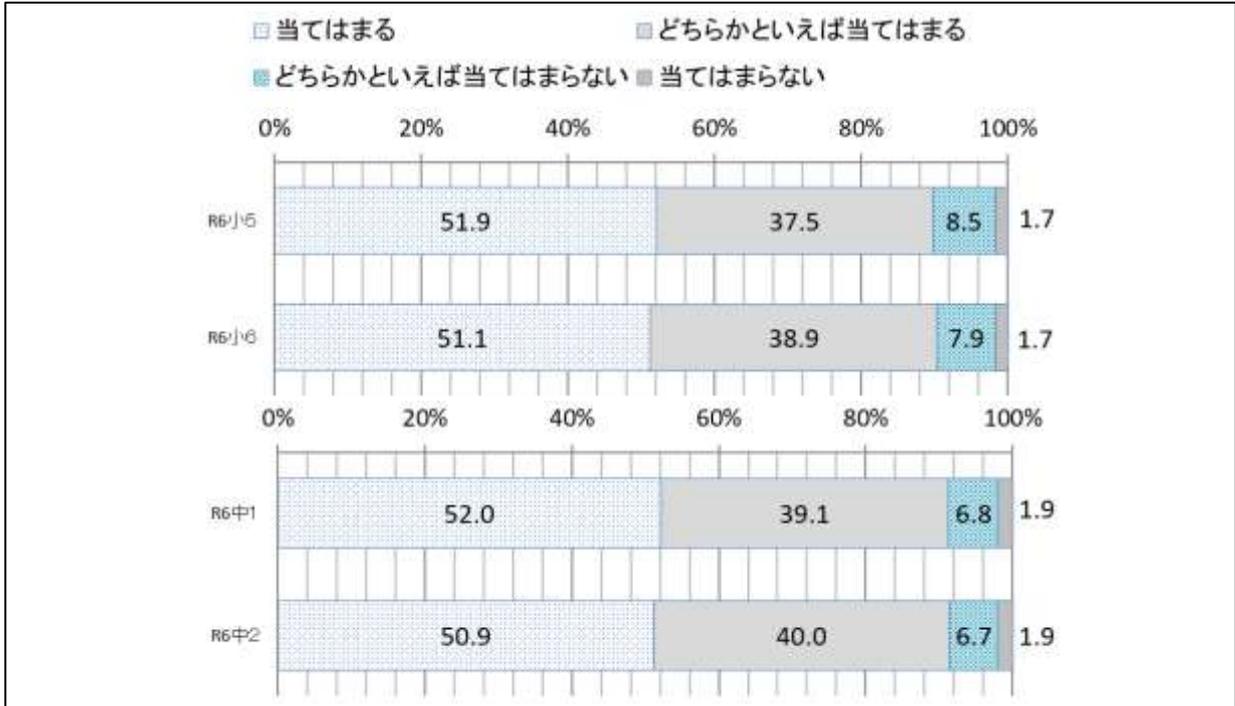
【参考】同一の質問結果（令和6年度全国学力・学習状況調査 4月実施）



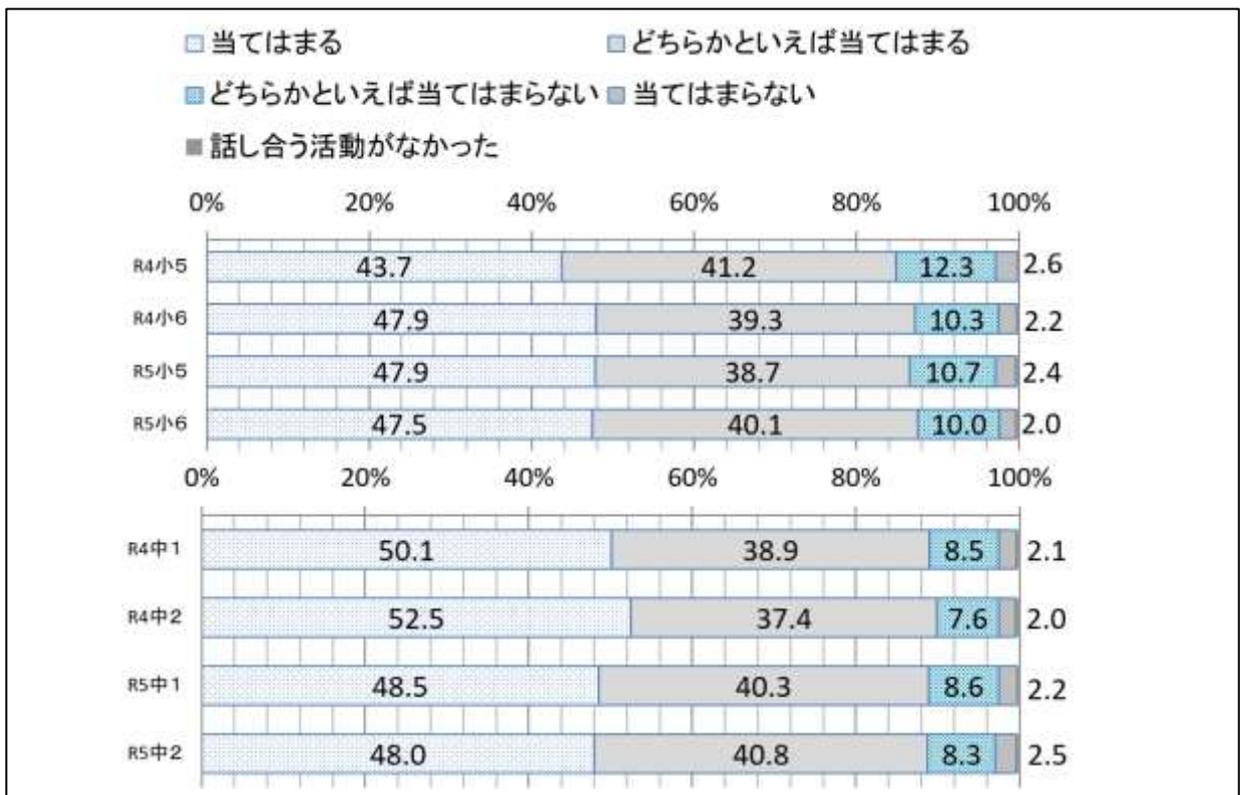
【質問3】学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていると思う。

○ 全ての学年で、肯定的な回答の割合が約90%となっている。

【今年度調査の結果】



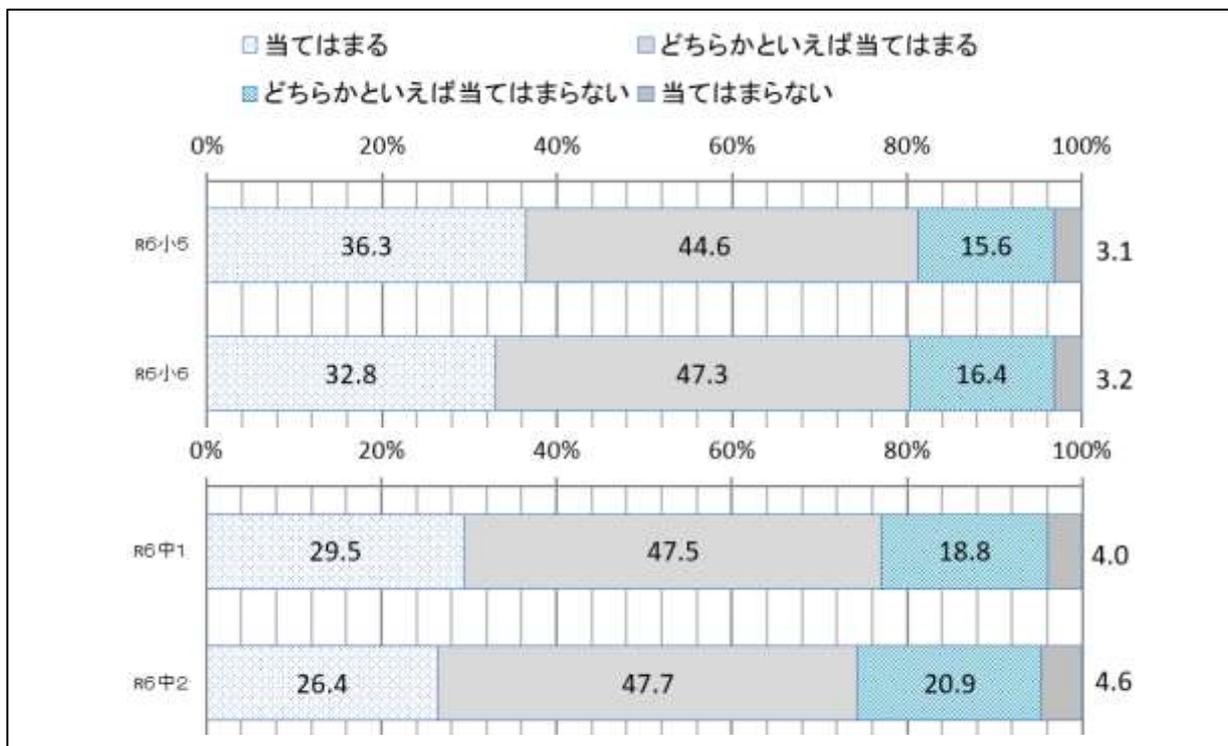
【参考】類似の質問結果（令和4年度・令和5年度県学力定着状況確認問題）  
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う。



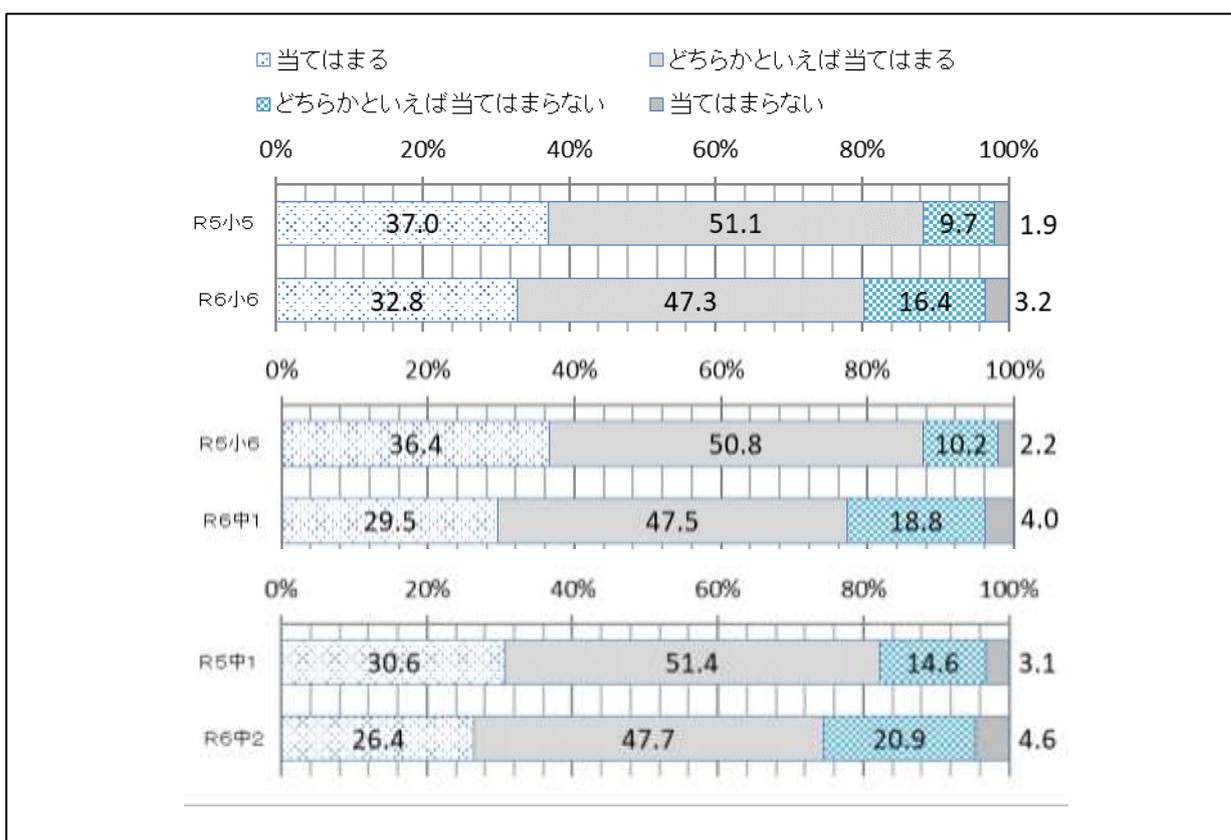
【質問4】学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し（振り返り）、次の学習につなげることができていると思う。

● 同一学年で経年変化を見ると、肯定的な回答をした割合が減少している。

【今年度調査の結果】



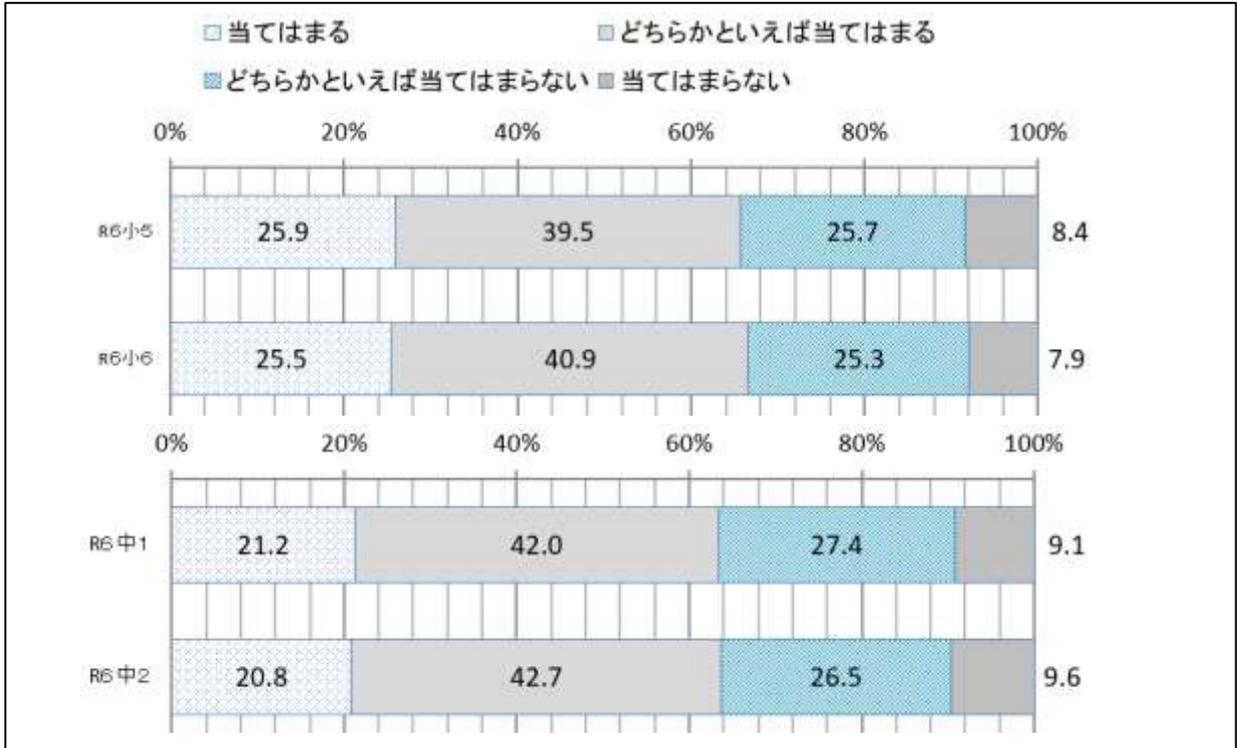
【同一児童生徒の経年比較】



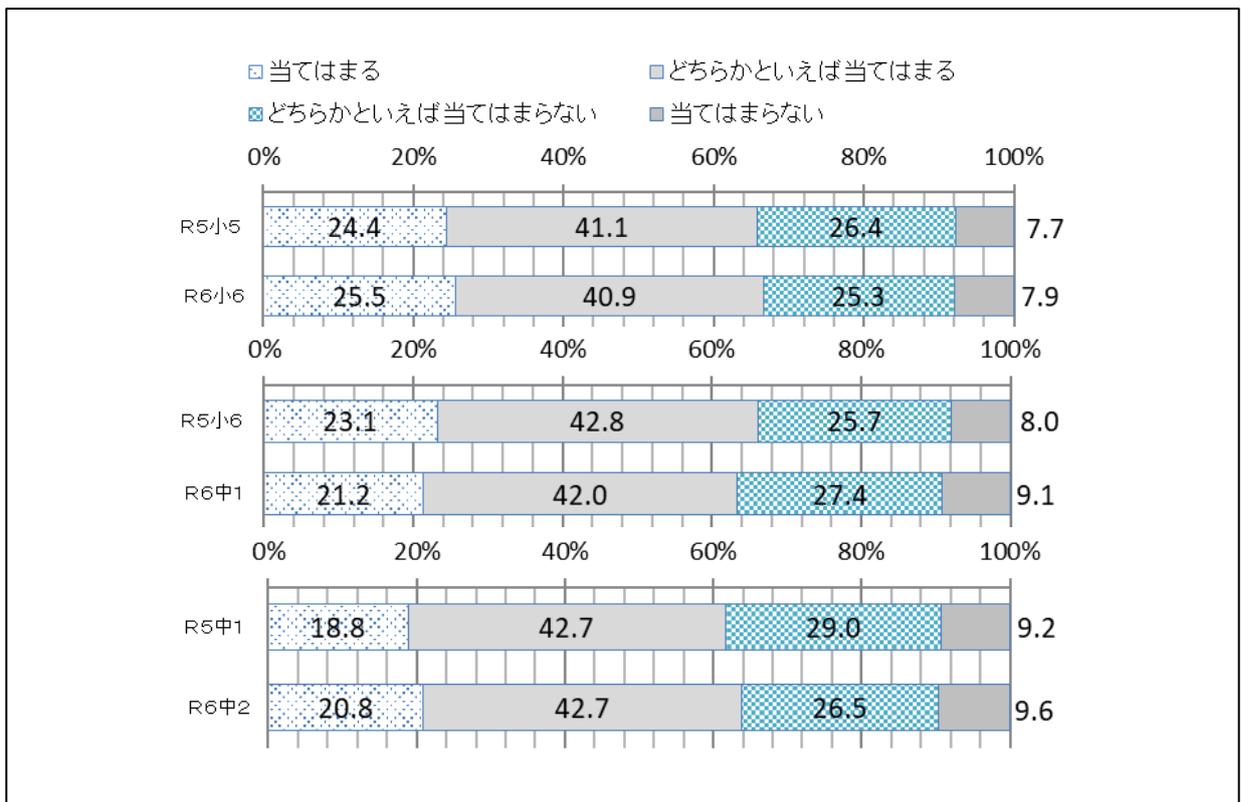
【質問5】授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していると思う。

△ 同一学年で経年変化を見ると、小6と中2では、肯定的な回答をした割合が増加しているが、中1では減少している。

【今年度調査の結果】



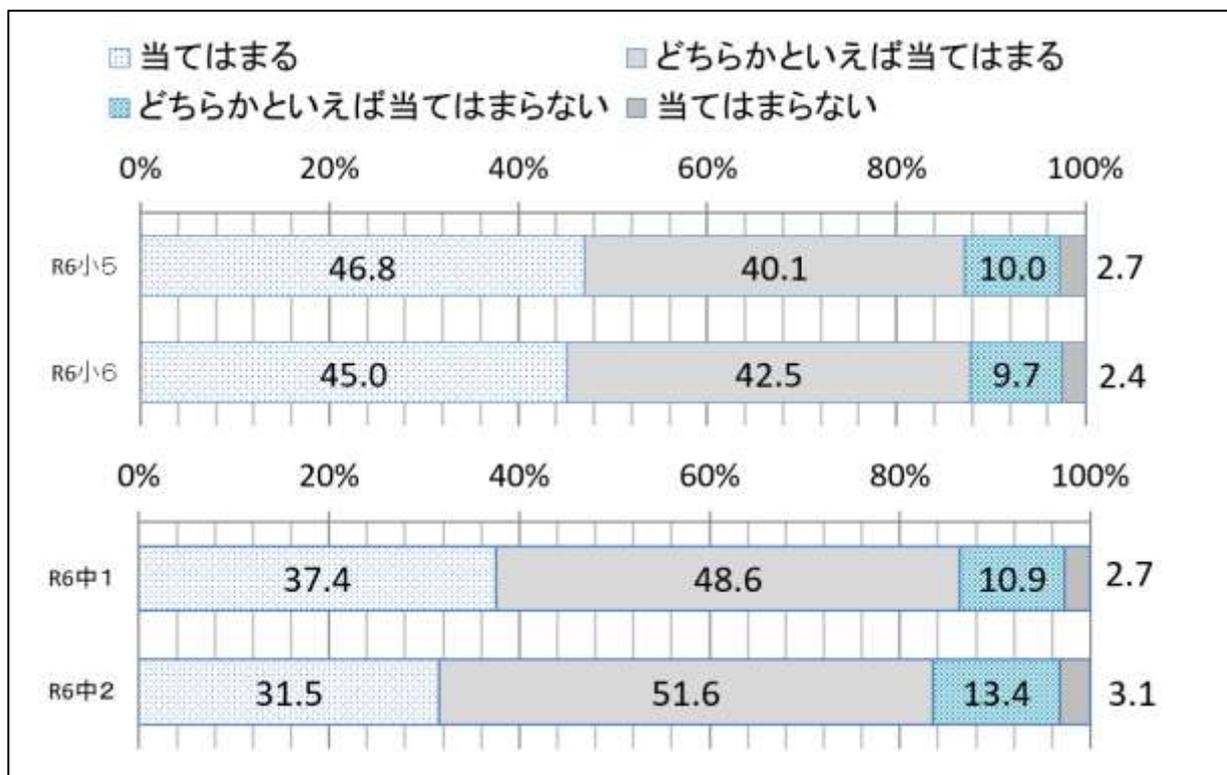
【同一児童生徒の経年比較】



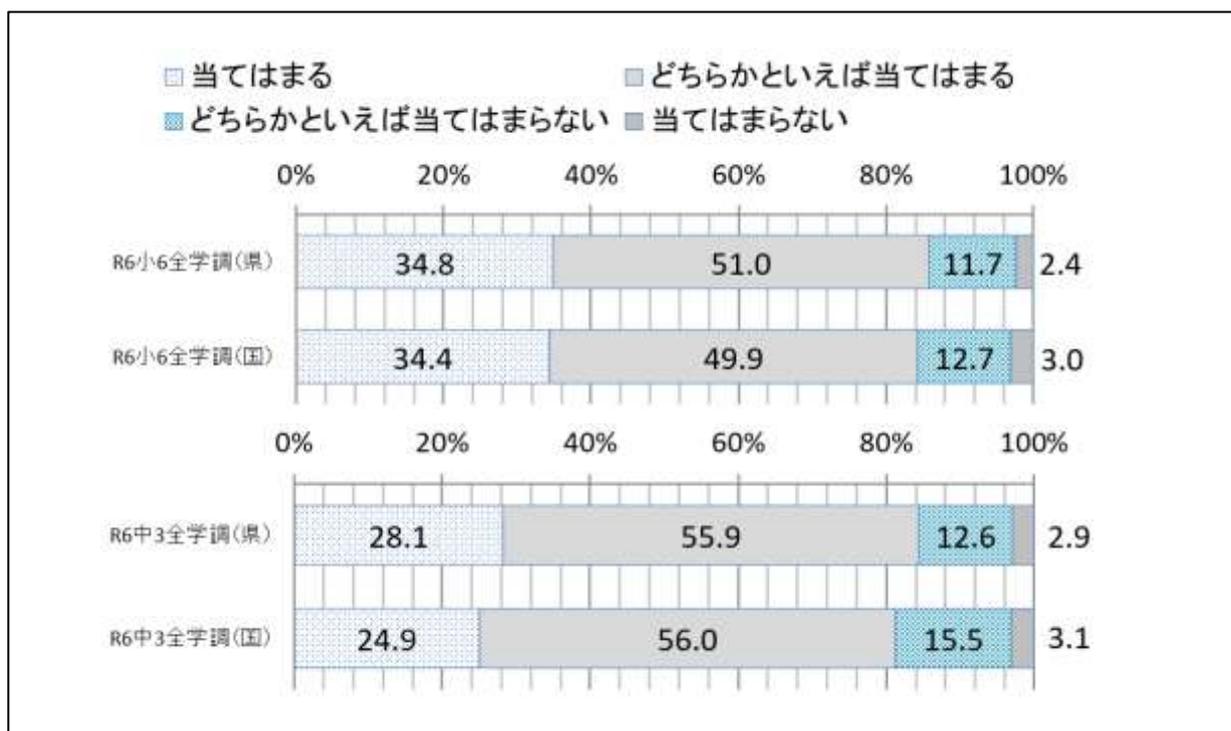
【質問6】授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっている。

○ 小6では、肯定的な回答をした割合が、令和6年度全国学力・学習状況調査の結果よりも増加している。

【今年度調査の結果】



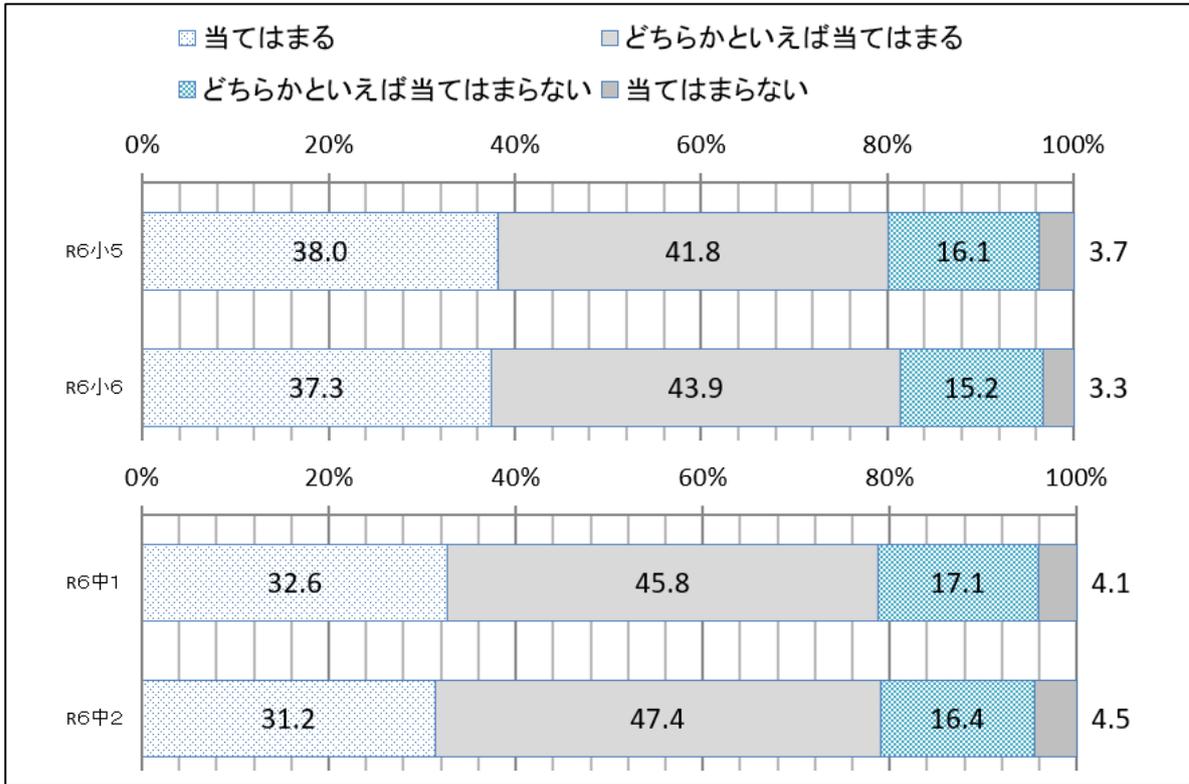
【参考】同一の質問結果（令和6年度全国学力・学習状況調査 4月実施）



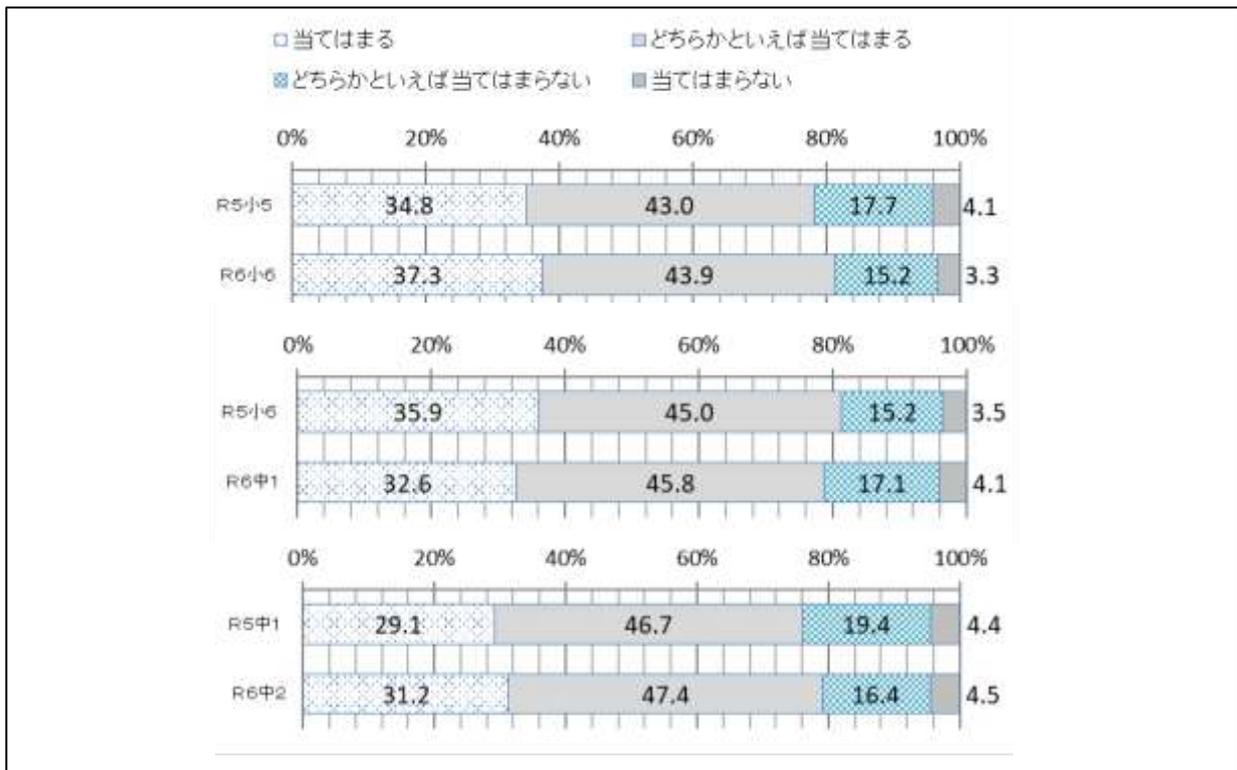
【質問7】総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思う。

△ 同一学年で経年変化を見ると、小6と中2では、肯定的な回答をした割合が増加しているが、中1では減少している。

【今年度調査の結果】



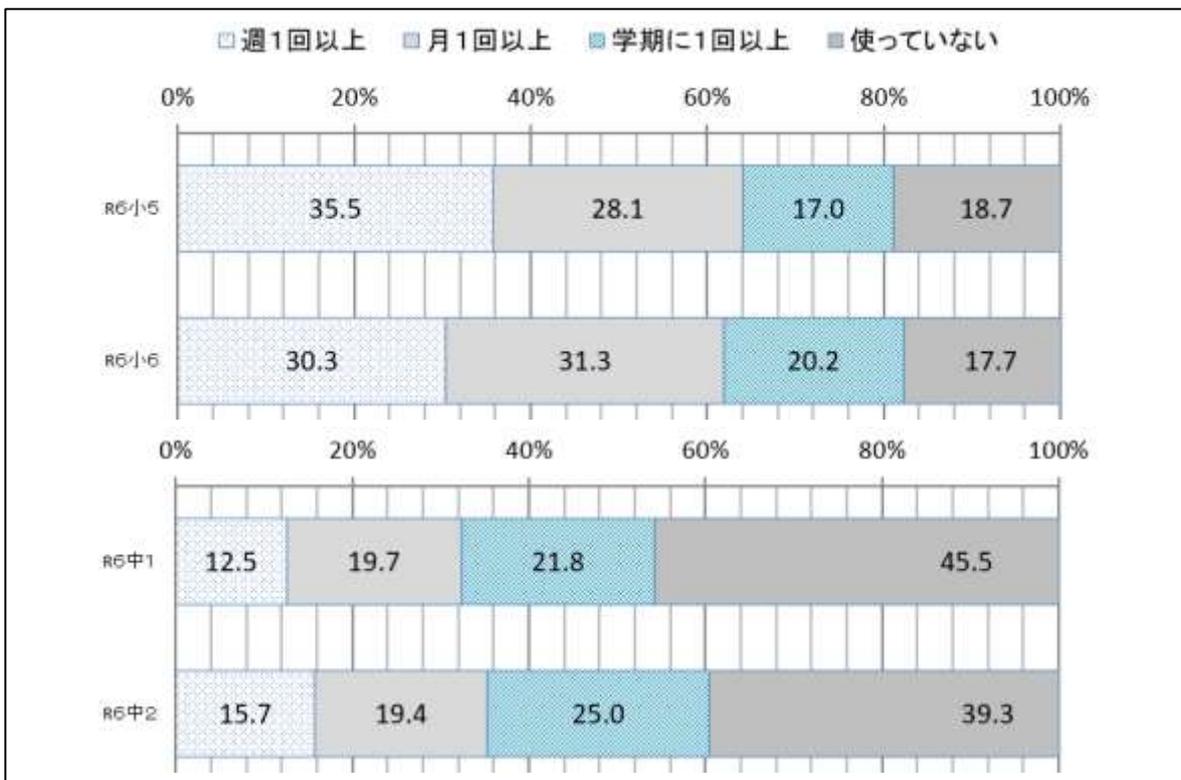
【同一児童生徒の経年比較】



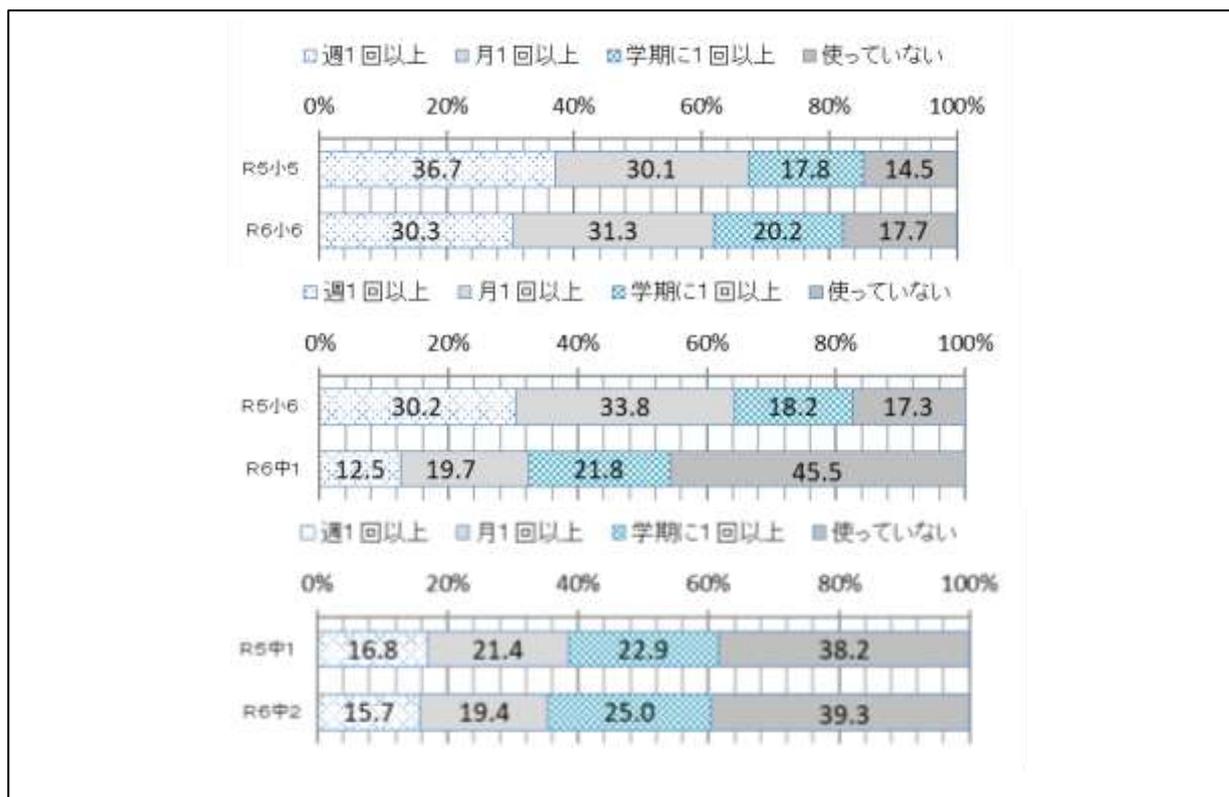
【質問8】やまぐちっ子学習プリントなどのやまぐち学習支援プログラムを、どの程度使用していますか。

● 同一学年で経年変化を見ると、「週1回以上」と回答した割合が減少している。

【今年度調査の結果】



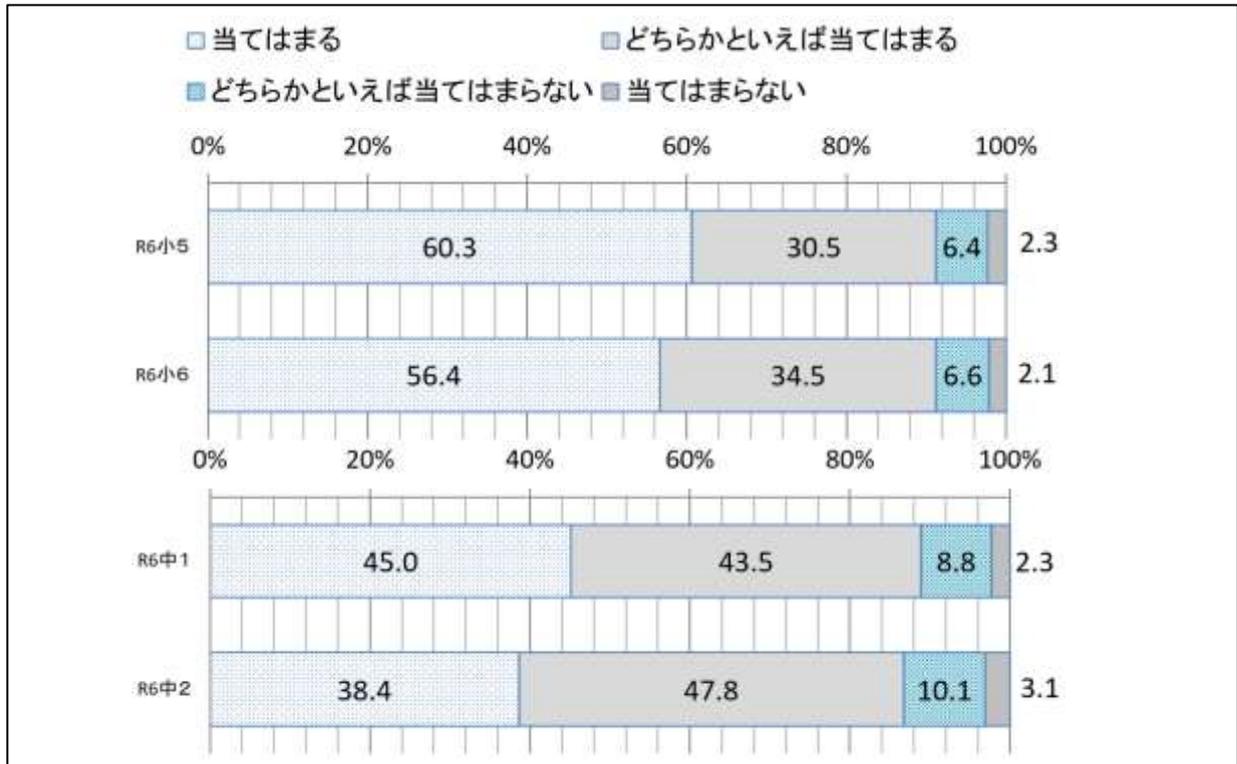
【同一児童生徒の経年比較】



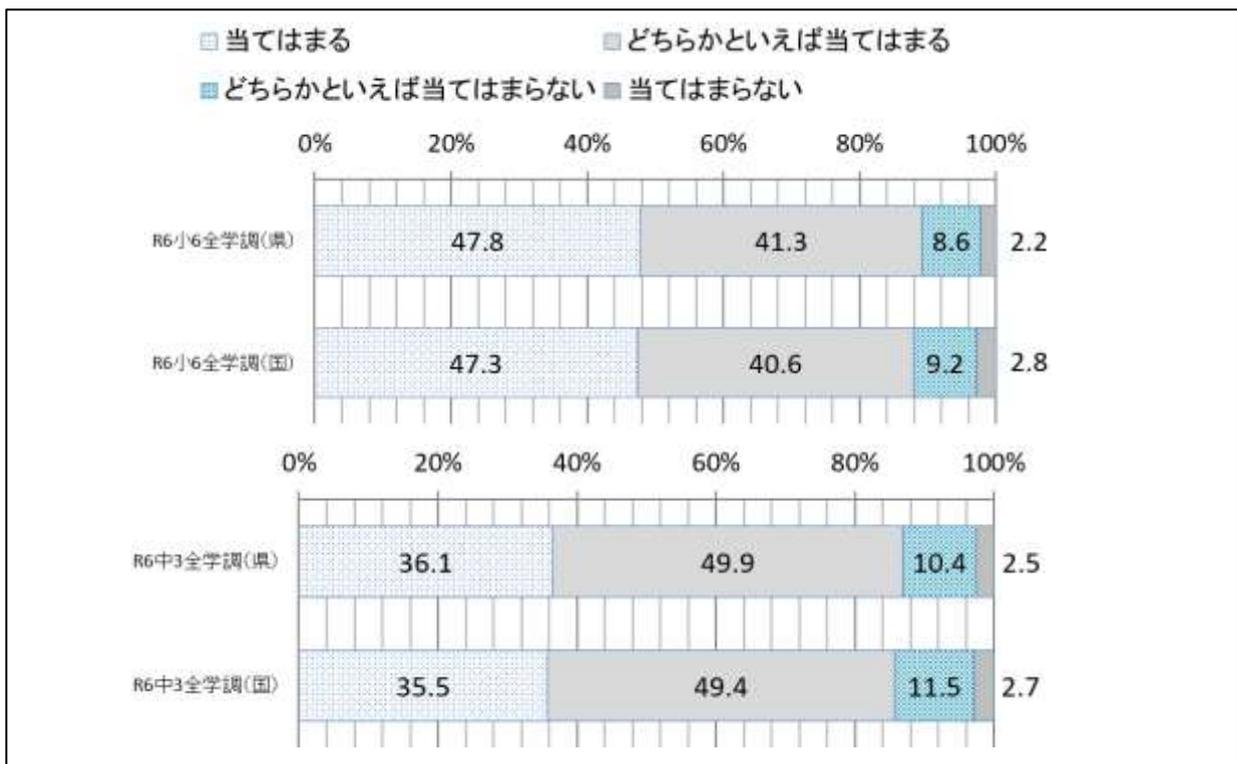
【質問9】先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思う。

○ 小6では、肯定的な回答をした割合が、令和6年度全国学力・学習状況調査よりも若干増加している。

【今年度調査の結果】



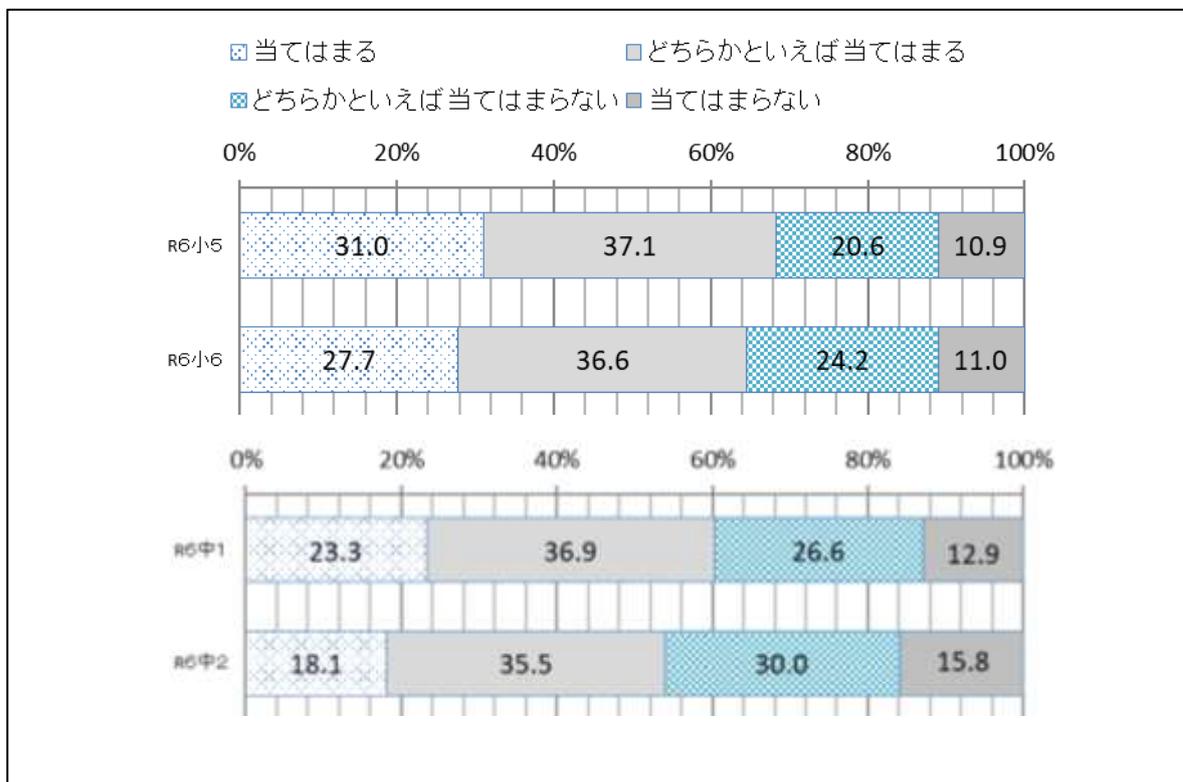
【参考】同一の質問結果（令和6年度全国学力・学習状況調査 4月実施）



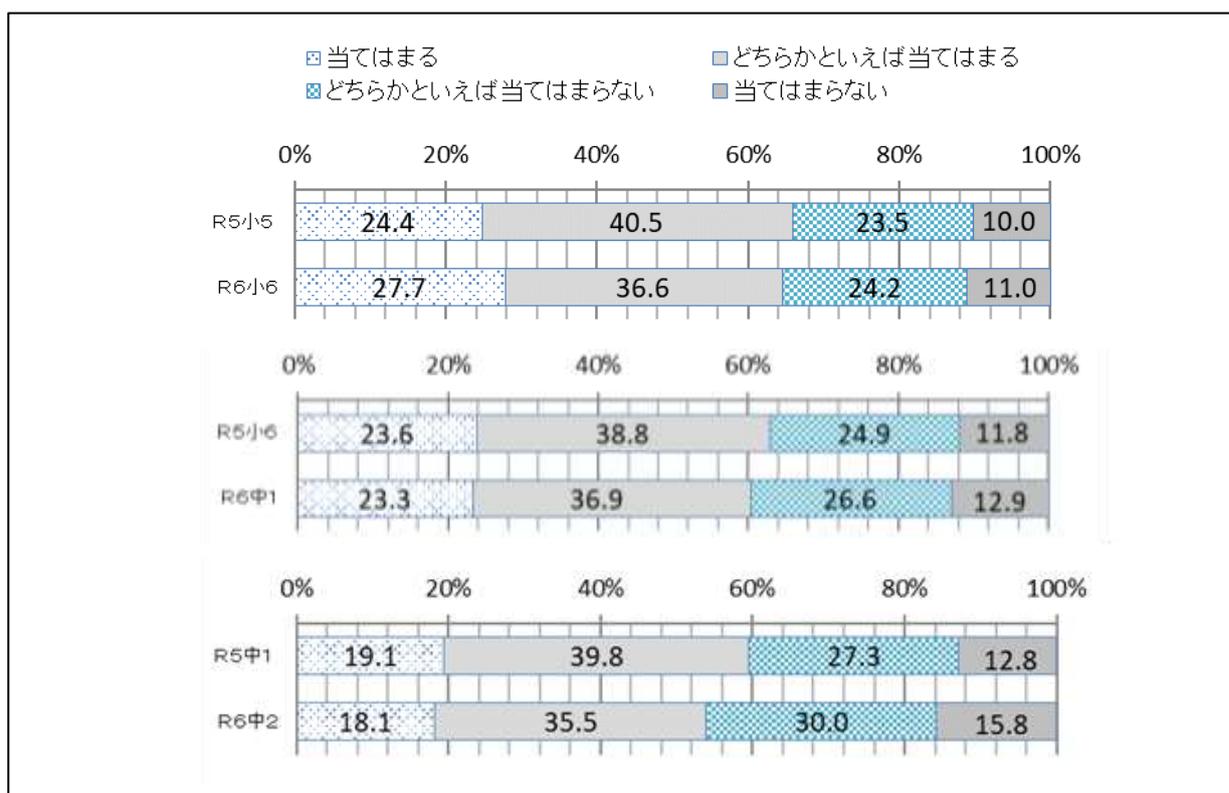
【質問10】家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。

- 同一学年で経年変化を見ると、肯定的な回答をした割合が減少している。

【今年度調査の結果】



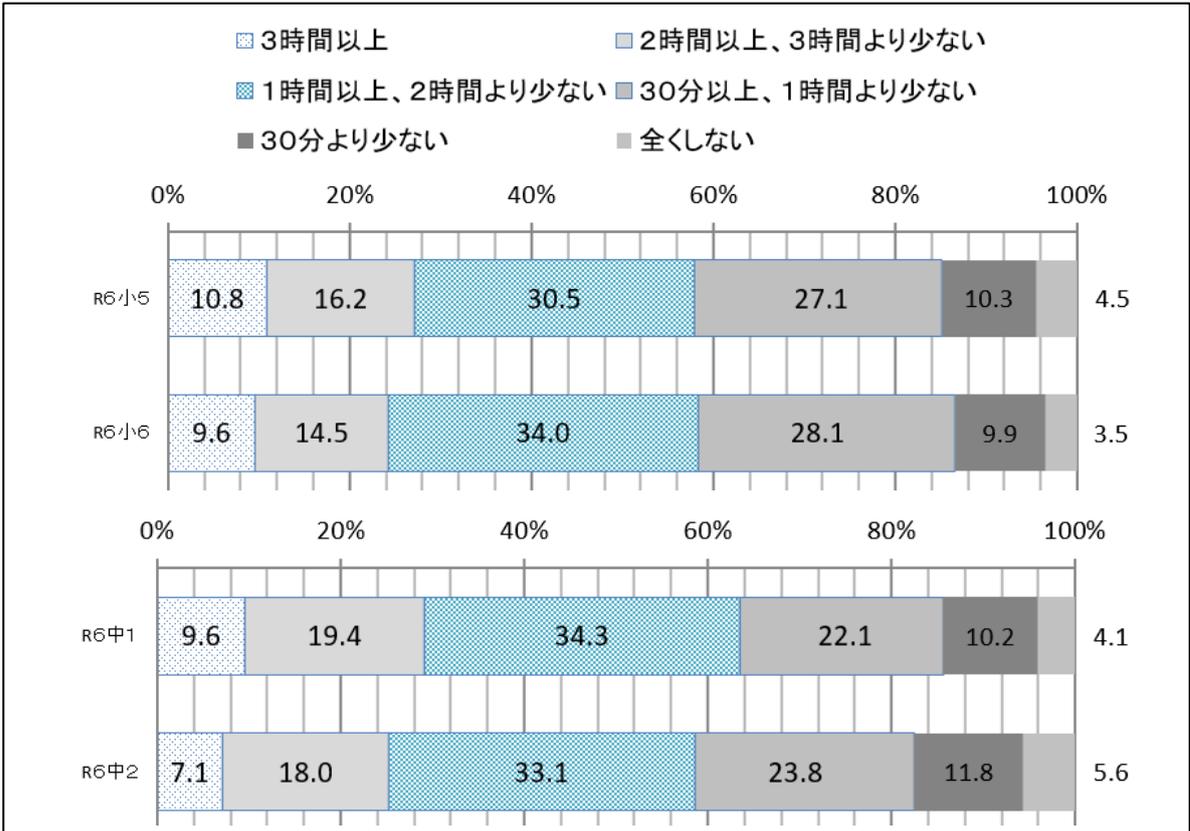
【同一児童生徒の経年比較】



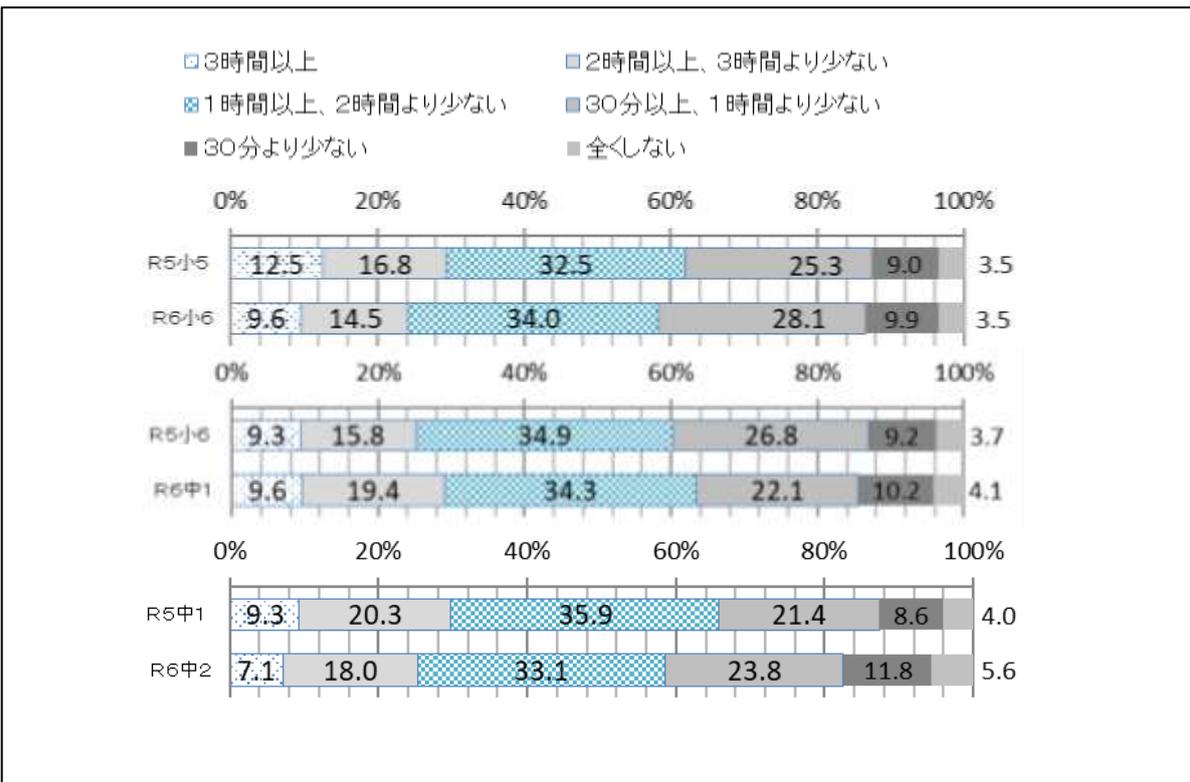
【質問 1 1】学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか（学習塾で勉強をしている時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含まれます）。

● 同一学年で経年変化を見ると、「30分より少ない」と回答した割合が増加している。

【今年度調査の結果】



【同一児童生徒の経年比較】



【小：質問12～14 中：質問12～15】各教科の勉強が好きだ。

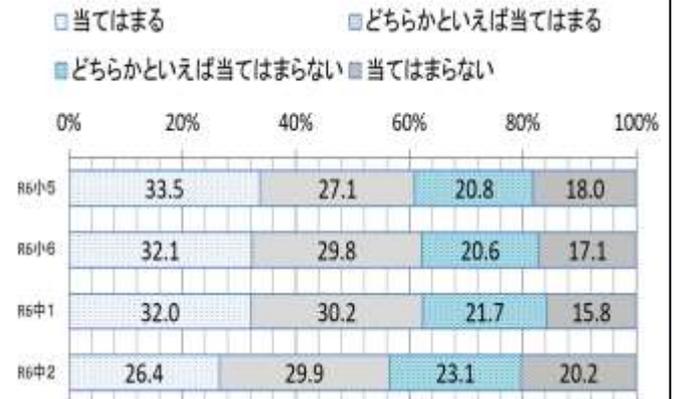
- 理科、英語科では、学年が上がるにつれて、肯定的な回答をする割合が減少している。

【今年度調査の結果】

国語科



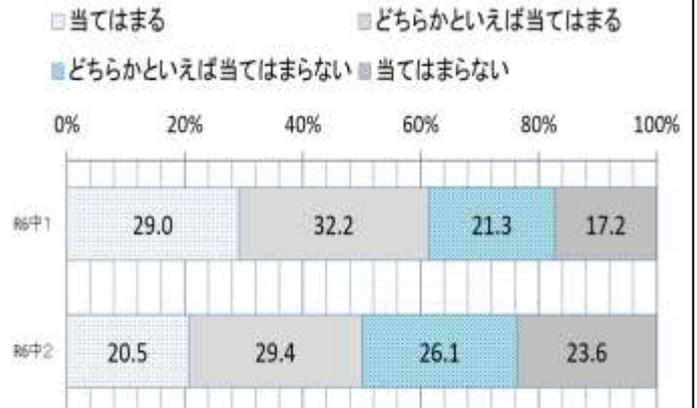
算数・数学科



理科



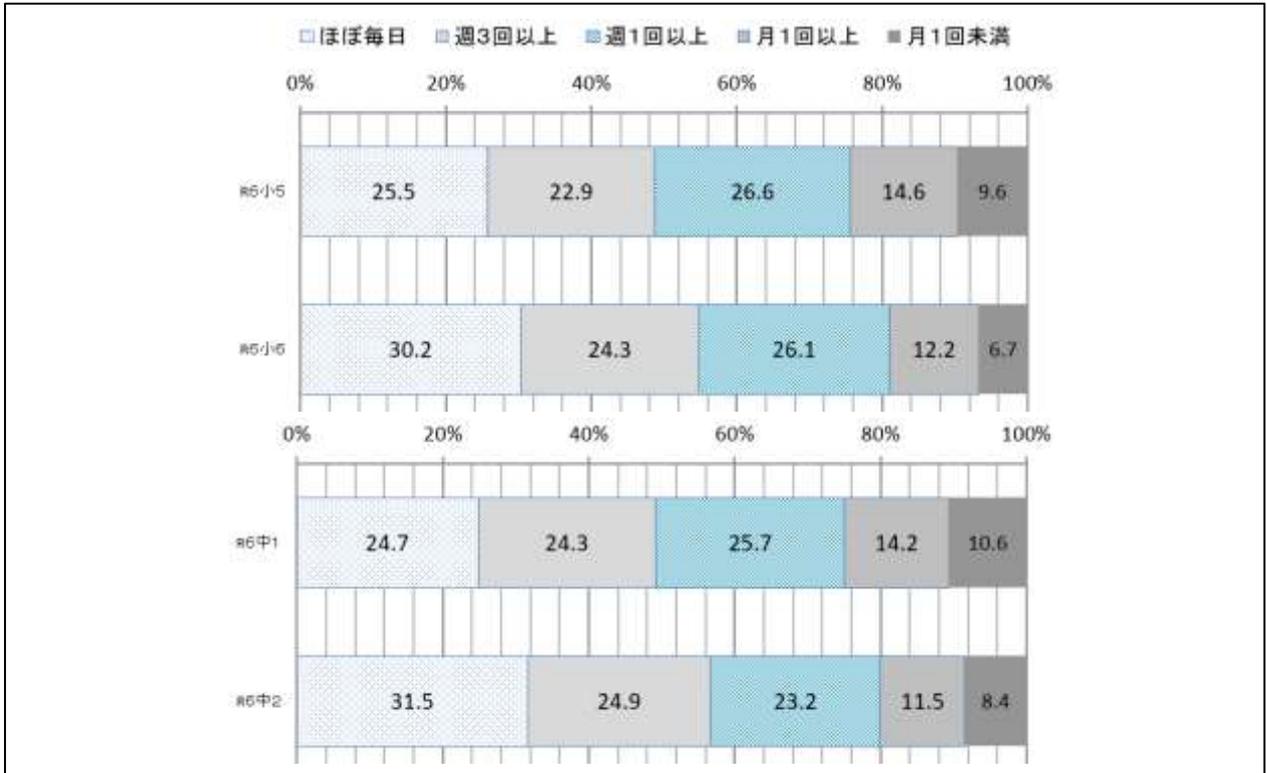
英語科



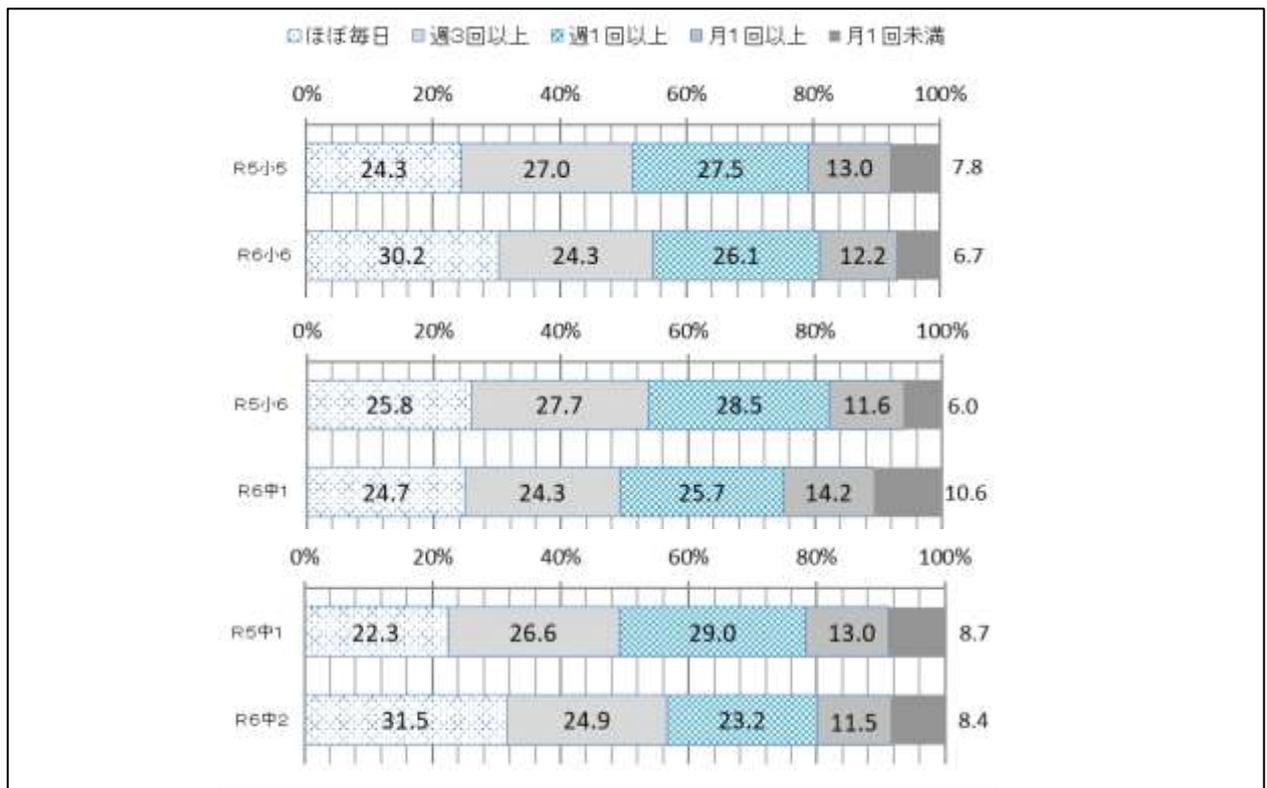
【小：質問15 中：質問16】あなたは学校で、コンピュータなどのICT機器を、学級の友達と意見を交換する場面で、どの程度使用していますか。

△ 同一学年で経年変化を見ると、小6と中2では、「ほぼ毎日」と回答した割合が増加しているが、中1では減少している。

【今年度調査の結果】



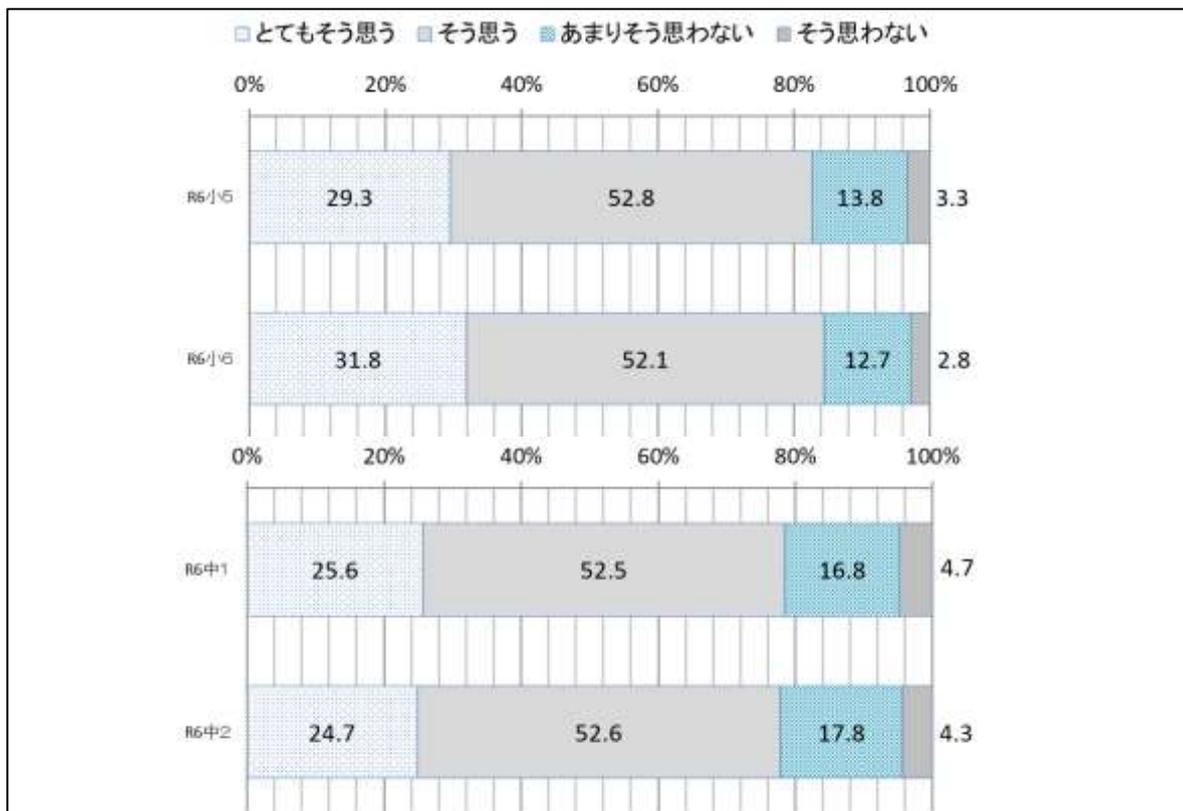
【同一児童生徒の経年比較】



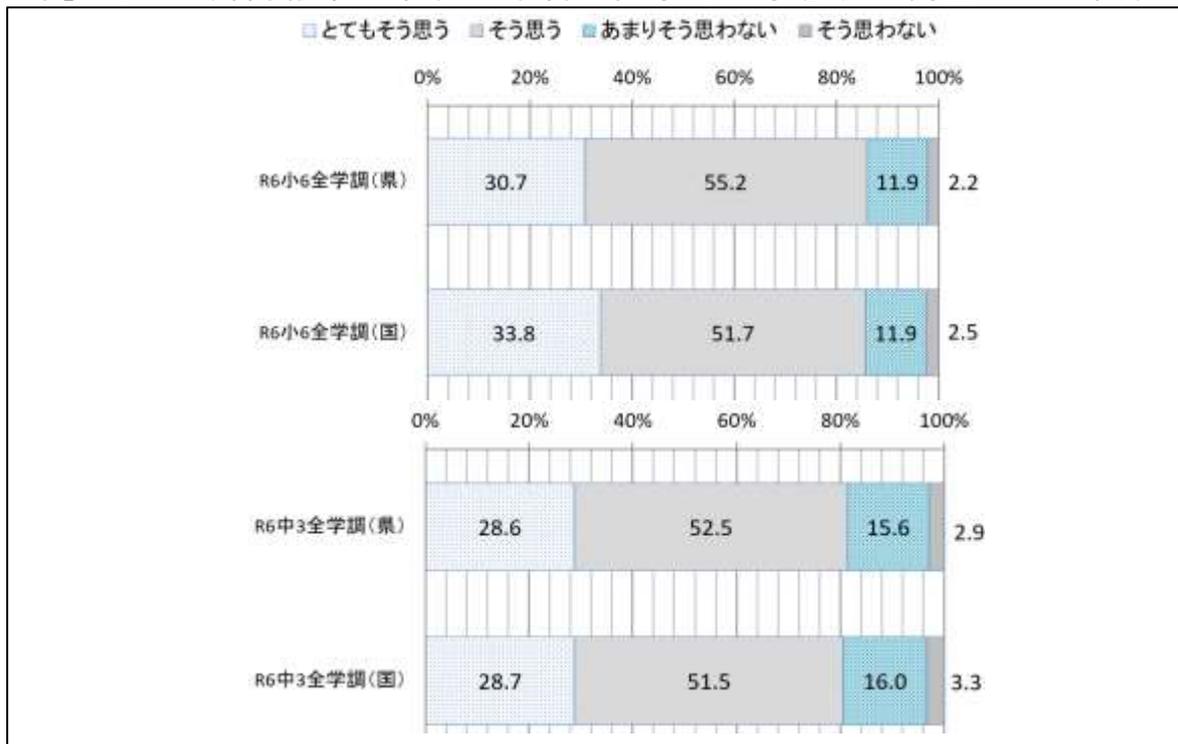
【小：質問16 中：質問17】ICT機器を活用することで、自分のペースで理解しながら進めることができる。

○ 全ての学年で、肯定的な回答をした割合が約80%となっている。

【今年度調査の結果】



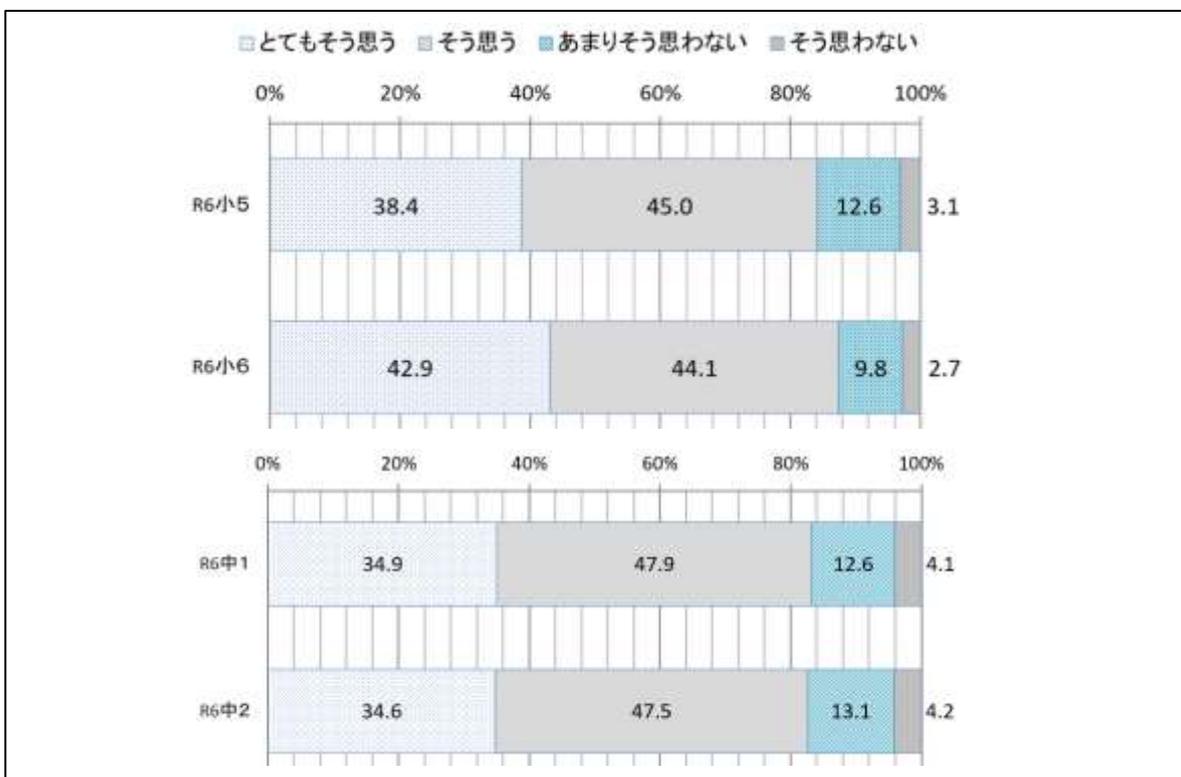
【参考】同一の質問結果（令和6年度全国学力・学習状況調査 4月実施）



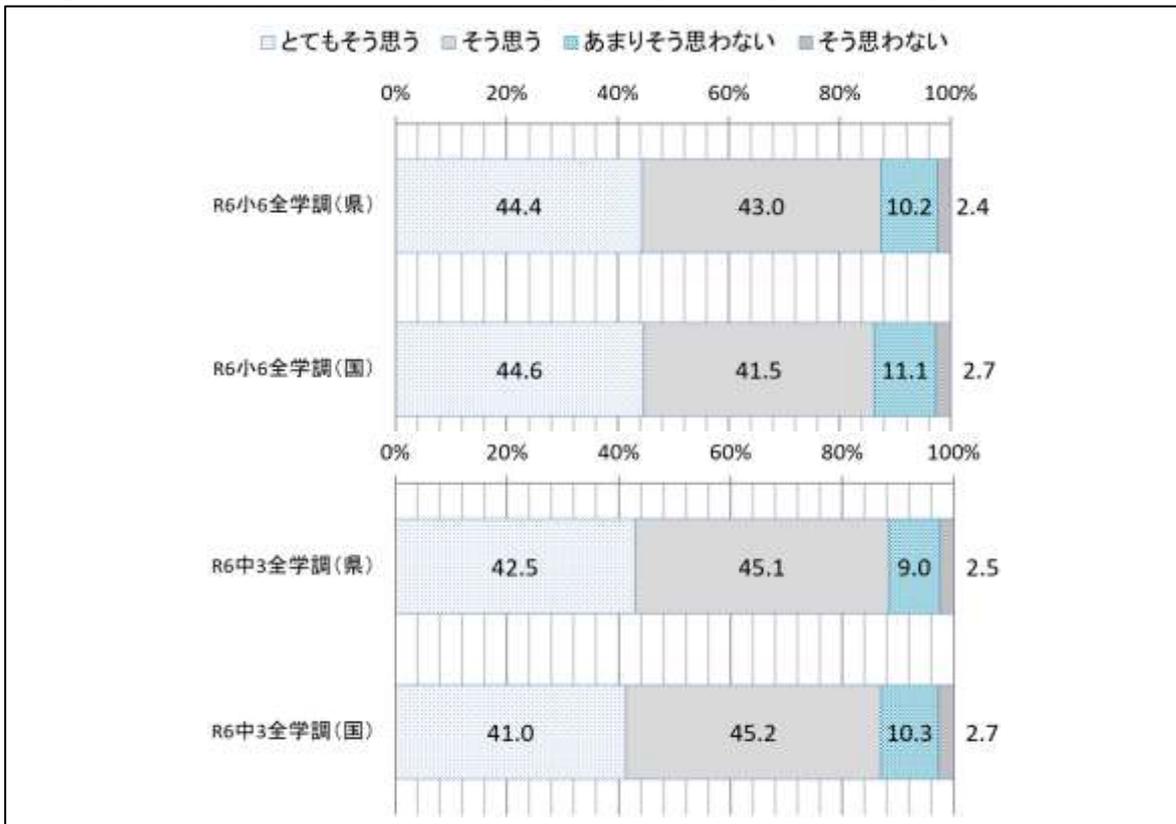
【小：質問17 中：質問18】ICT機器を活用することで、友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる。

△ 小6では、肯定的な回答をした割合が、令和6年度全国学力・学習状況調査と同程度である。

【今年度調査の結果】



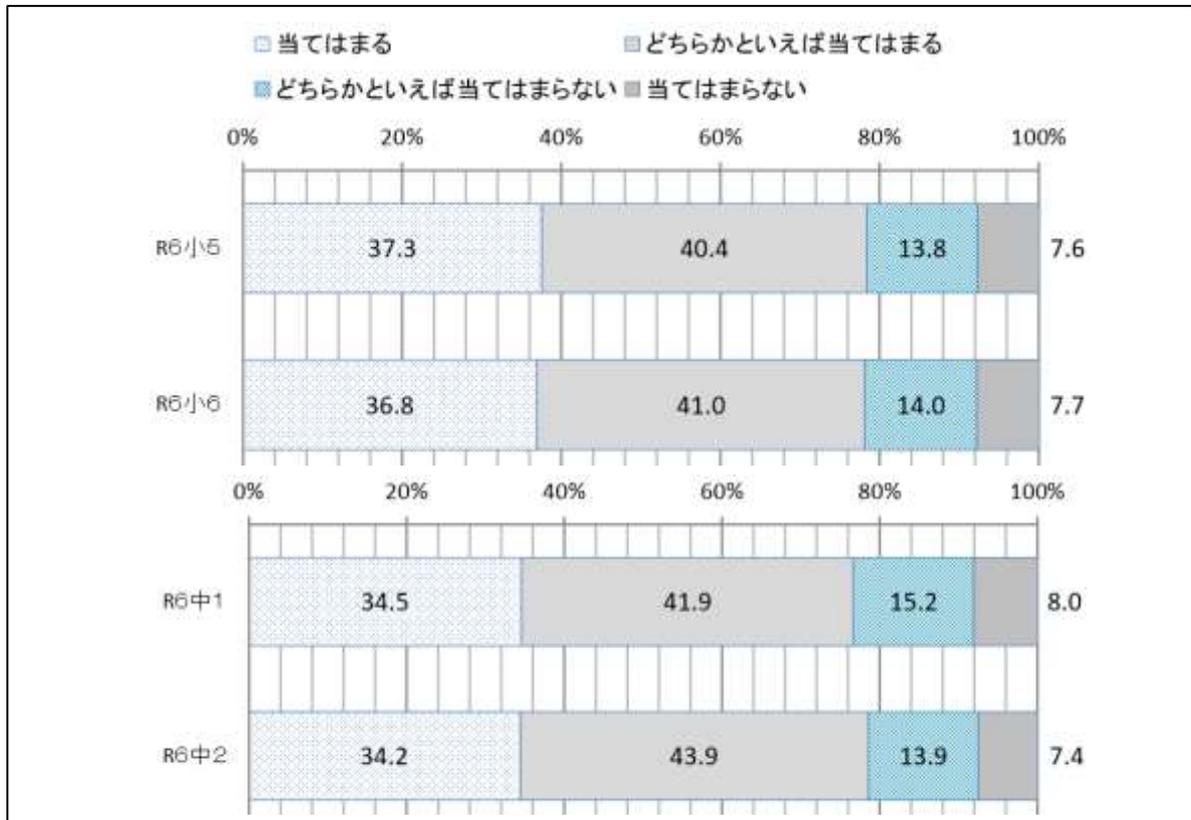
【参考】同一の質問結果（令和6年度全国学力・学習状況調査 4月実施）



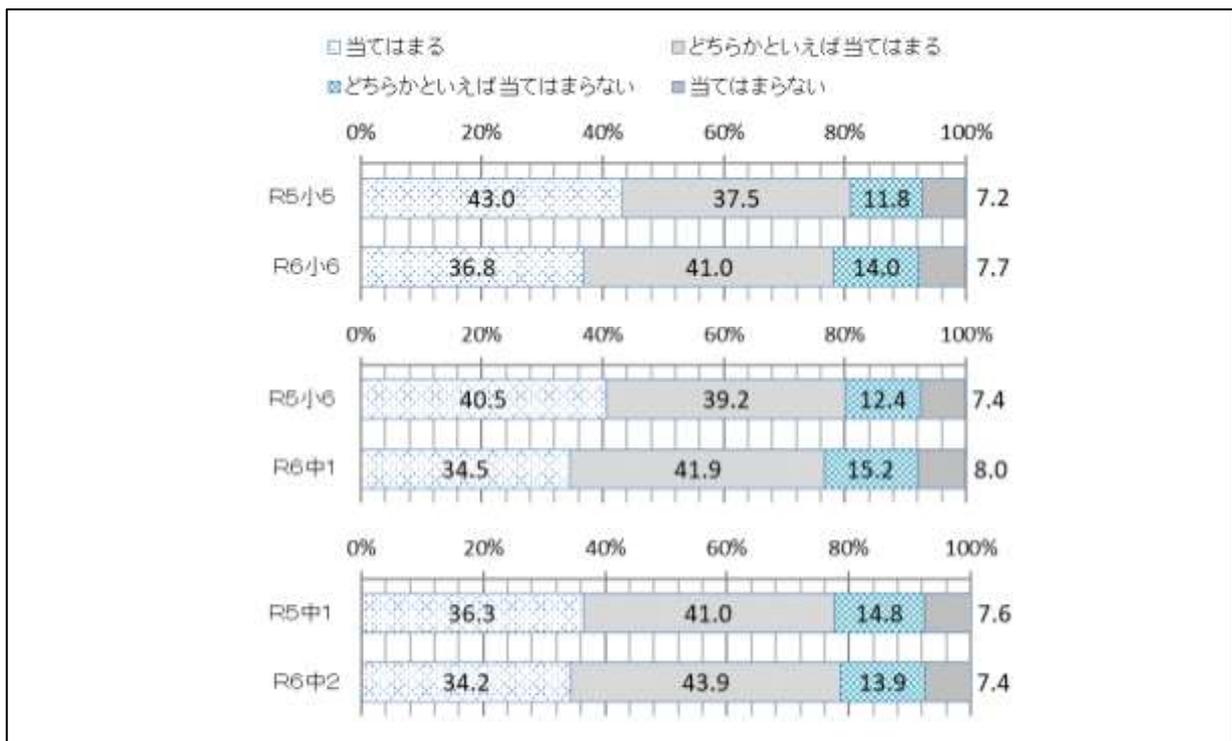
【小：質問18 中：質問19】自分には、よいところがあると思う。

- 同一学年で経年変化を見ると、小6と中1では、肯定的な回答をした割合が減少しているが、中2では増加している。

【今年度調査の結果】



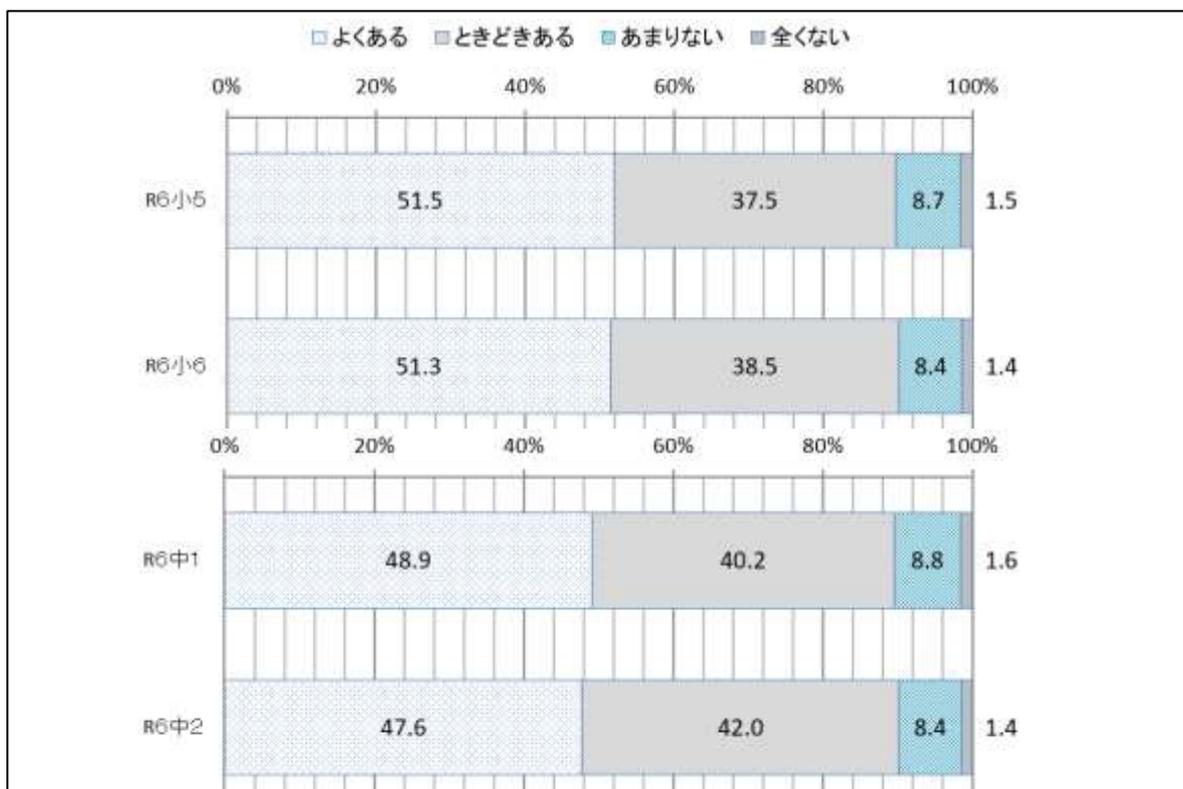
【同一児童生徒の経年比較】



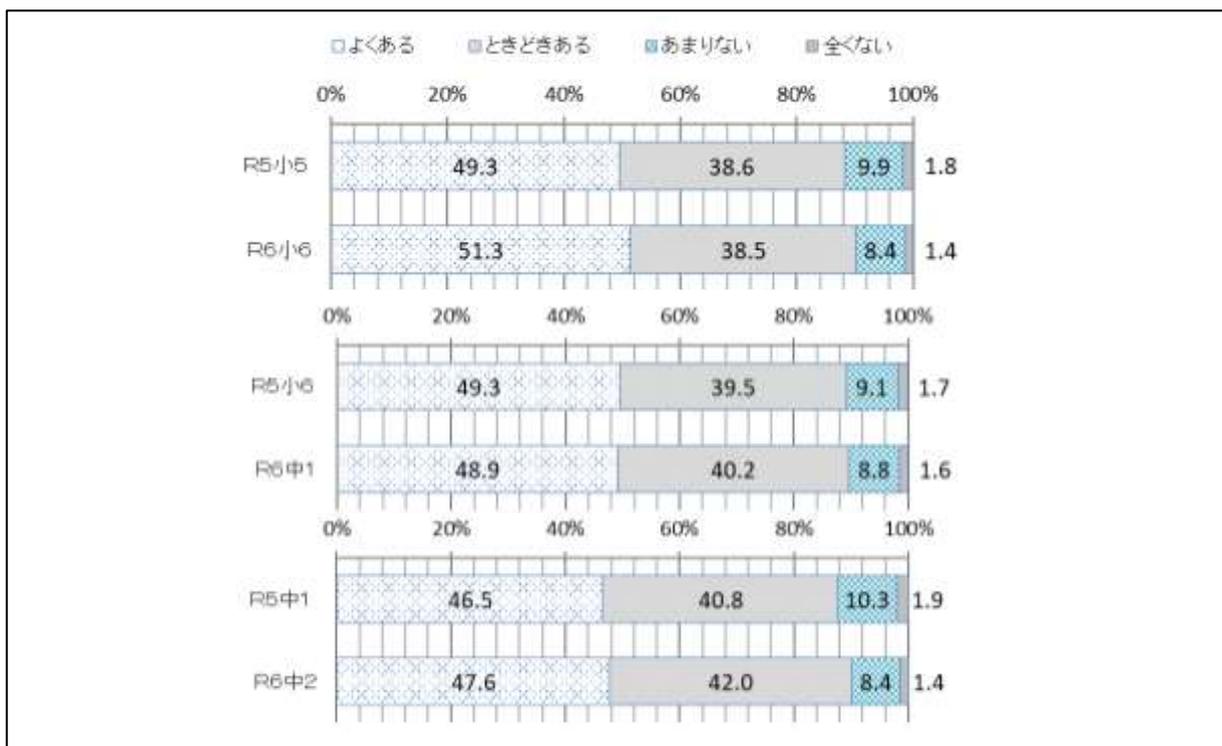
【小：質問19 中：質問20】 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。

○ 同一学年で経年変化を見ると、肯定的な回答をした割合が増加している。

【今年度調査の結果】



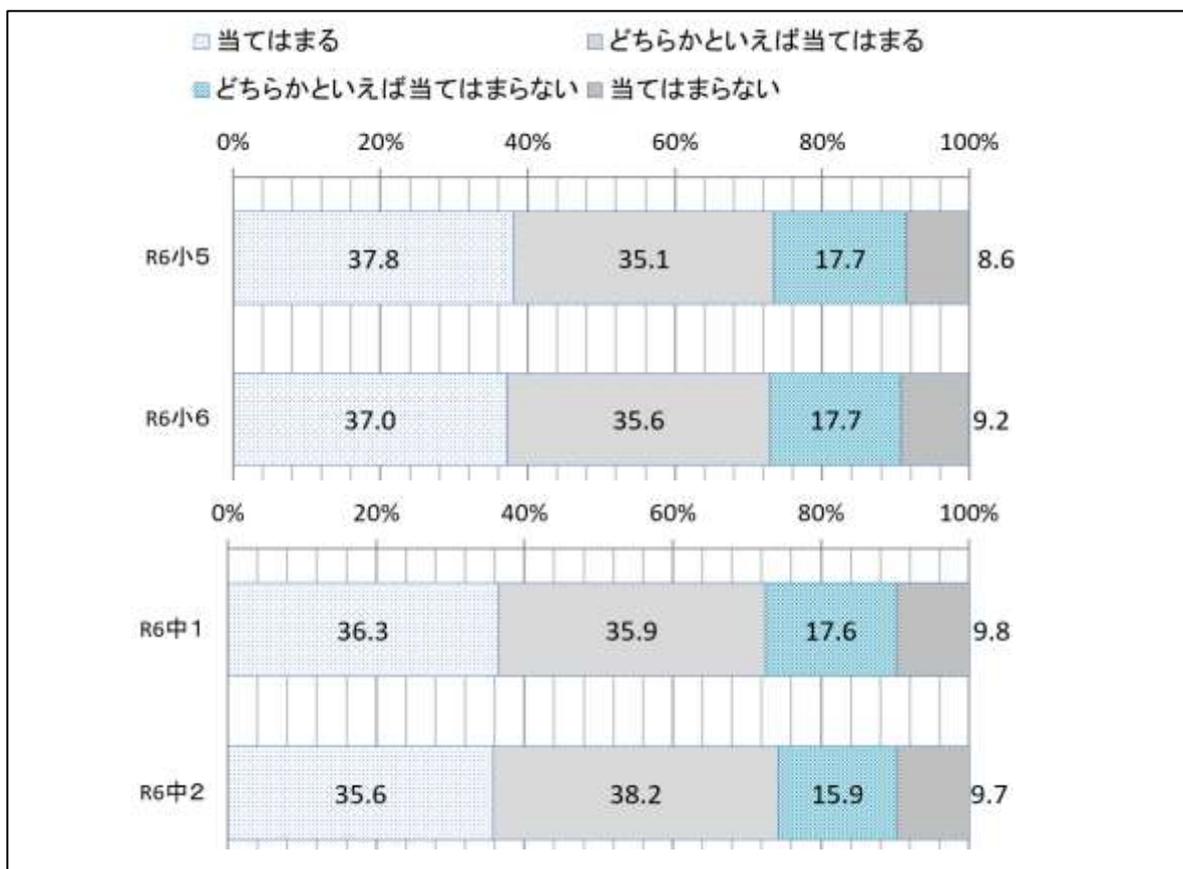
【同一児童生徒の経年比較】



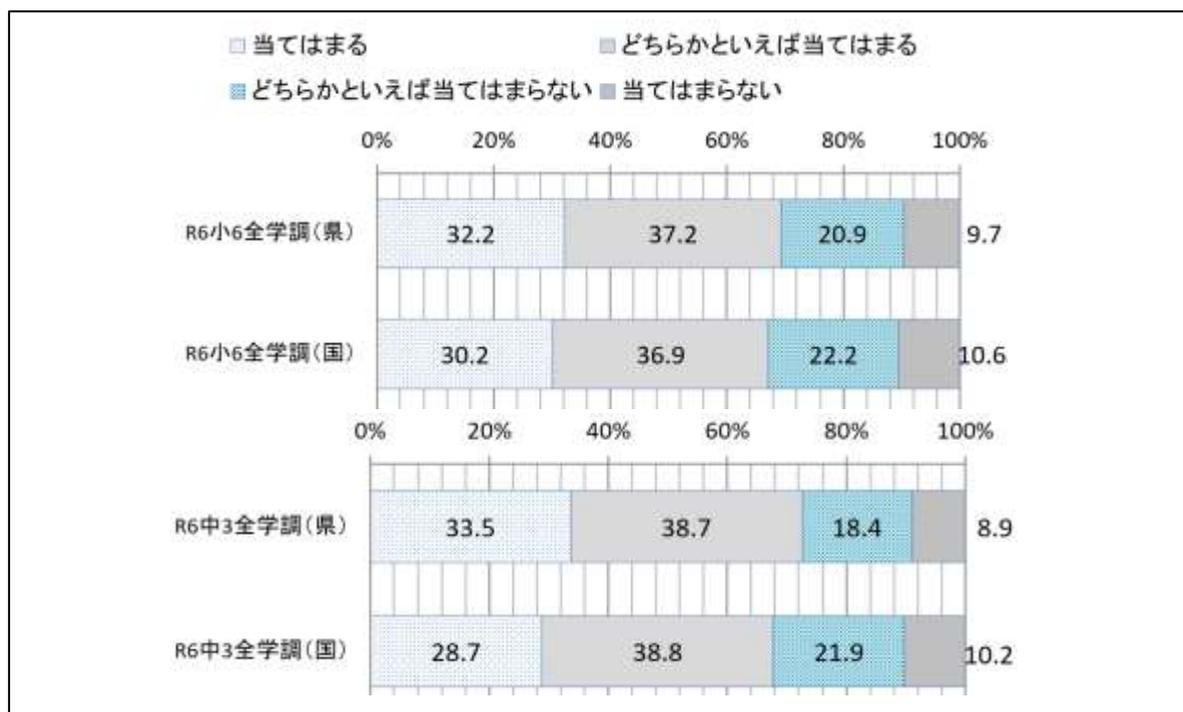
【小：質問20 中：質問21】困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。

○ 小6では、肯定的な回答をした割合が、令和6年度全国学力・学習状況調査の結果よりも増加している。

【今年度調査の結果】



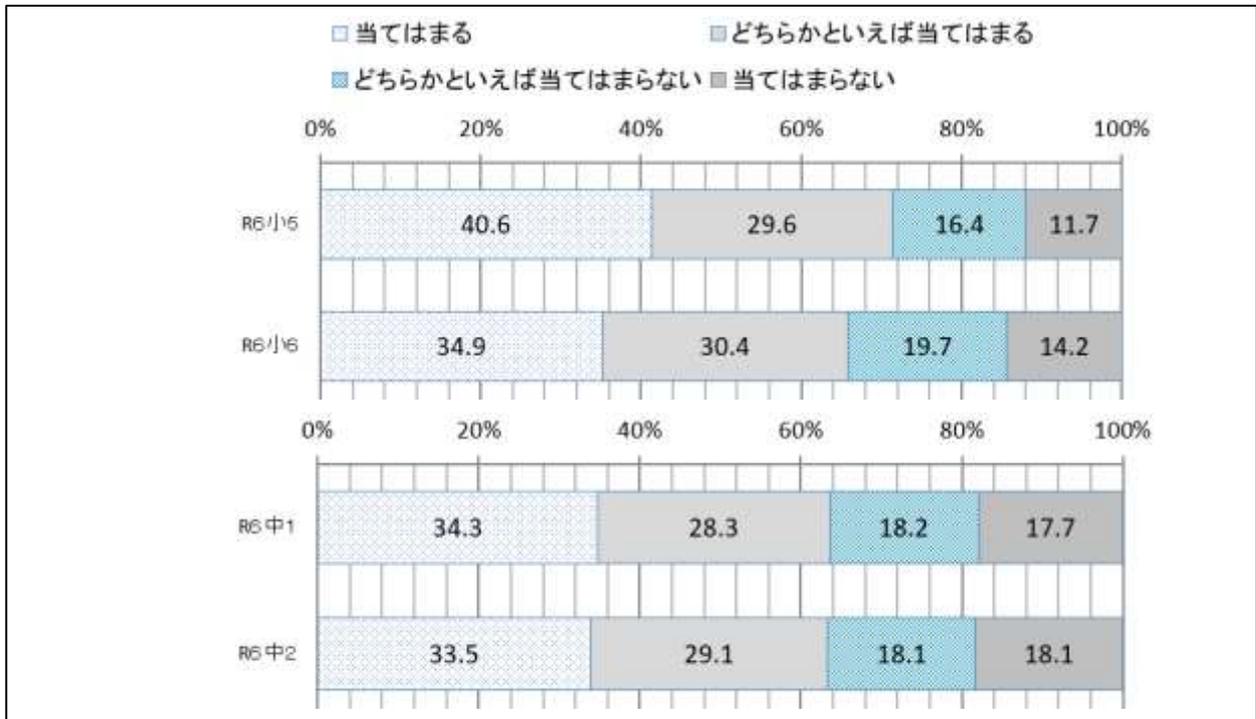
【参考】同一の質問結果（令和6年度全国学力・学習状況調査 4月実施）



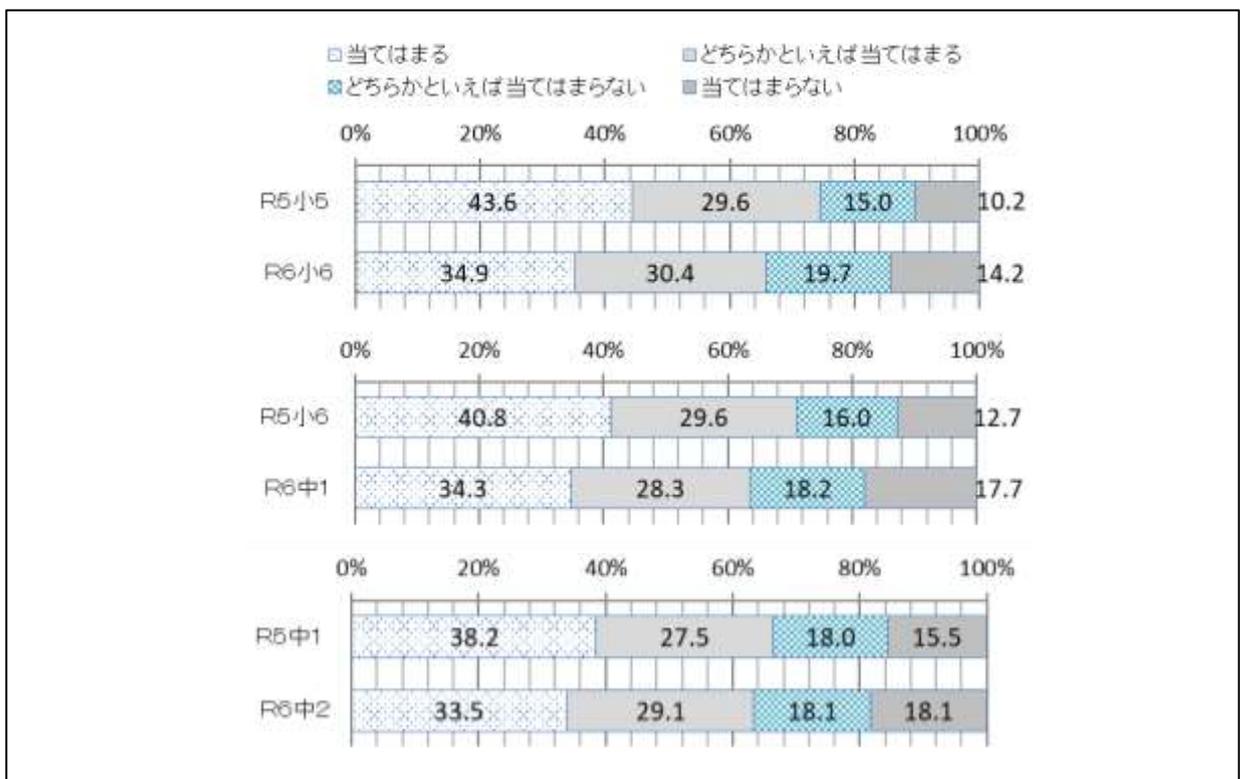
【小：質問2 1 中：質問2 2】読書は好きですか。

- 同一学年で経年変化を見ると、肯定的な回答をした割合が減少している。

【今年度調査の結果】



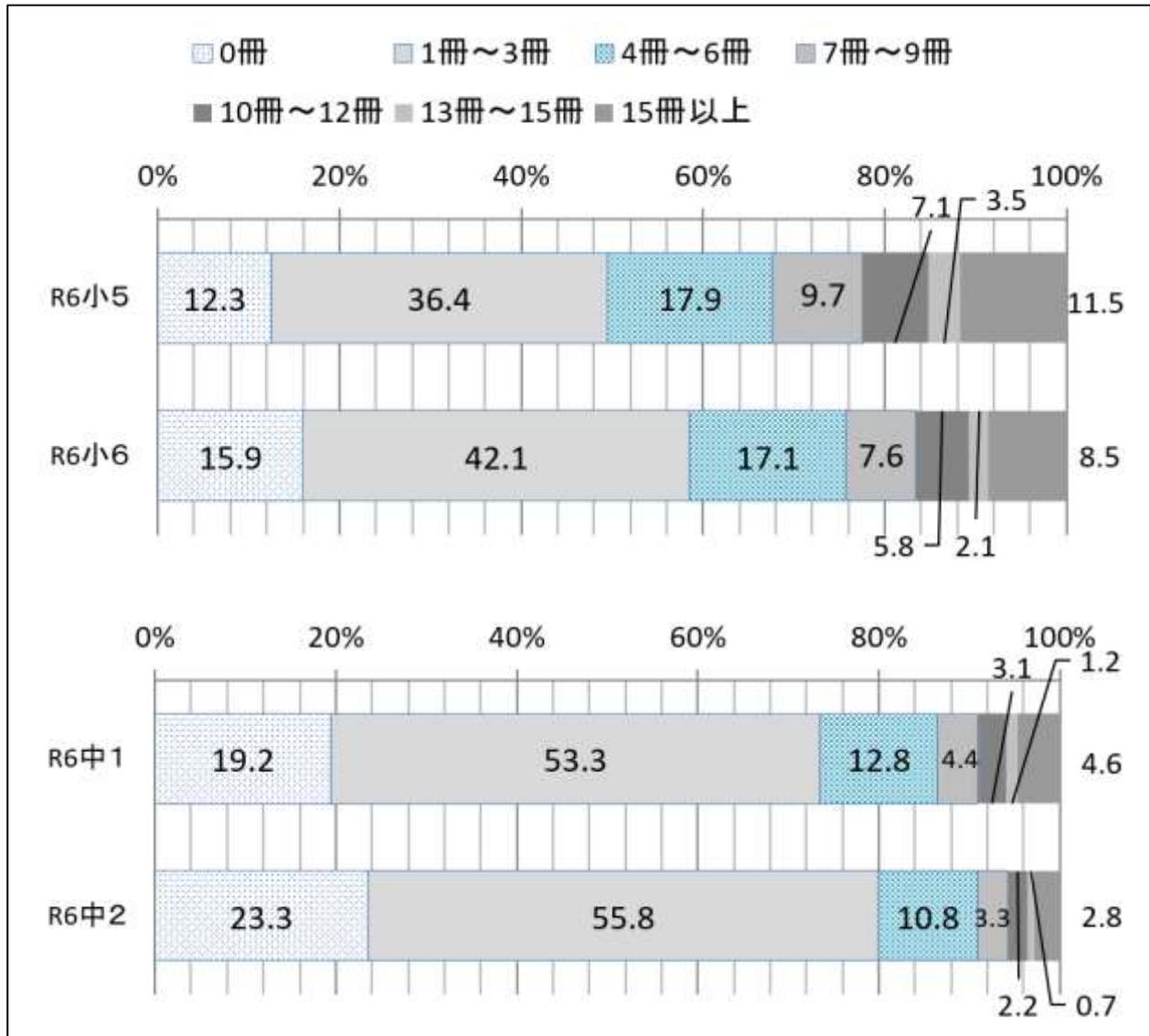
【同一児童生徒の経年比較】



【小：質問22 中：質問23】1ヶ月に本（漫画を除く）を何冊ぐらい読みますか。

- 学年が上がるにつれ、「0冊」と回答した割合が増加している。

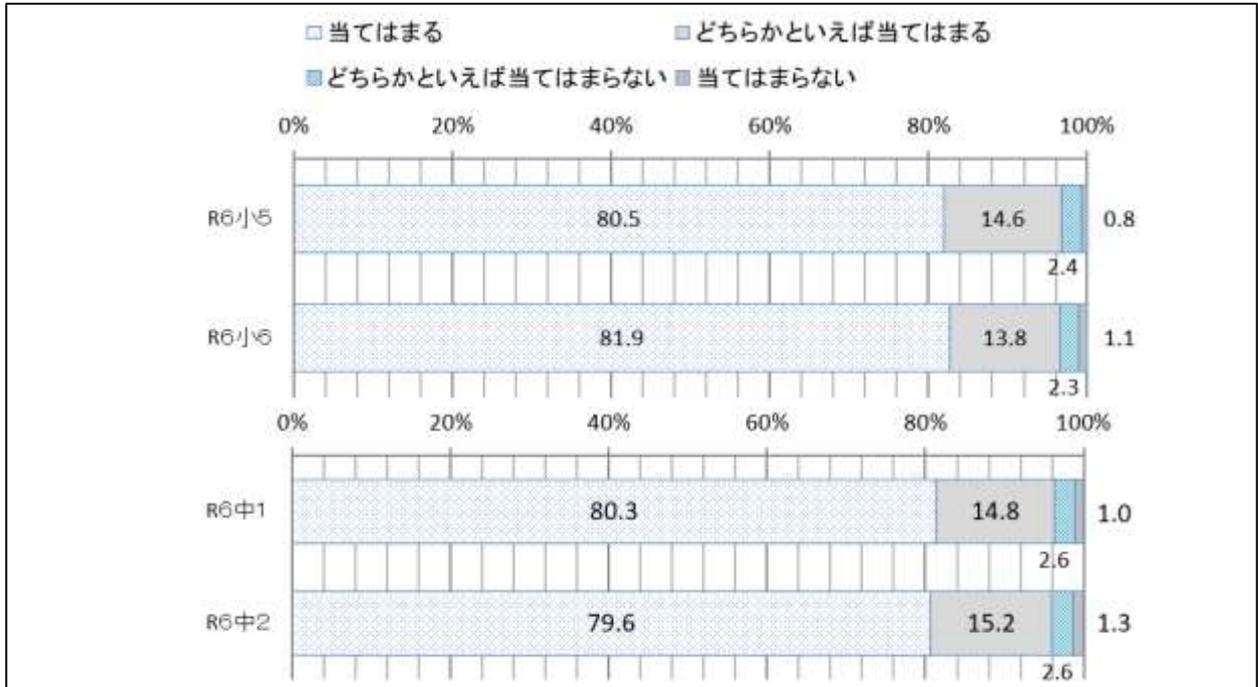
【今年度調査の結果】



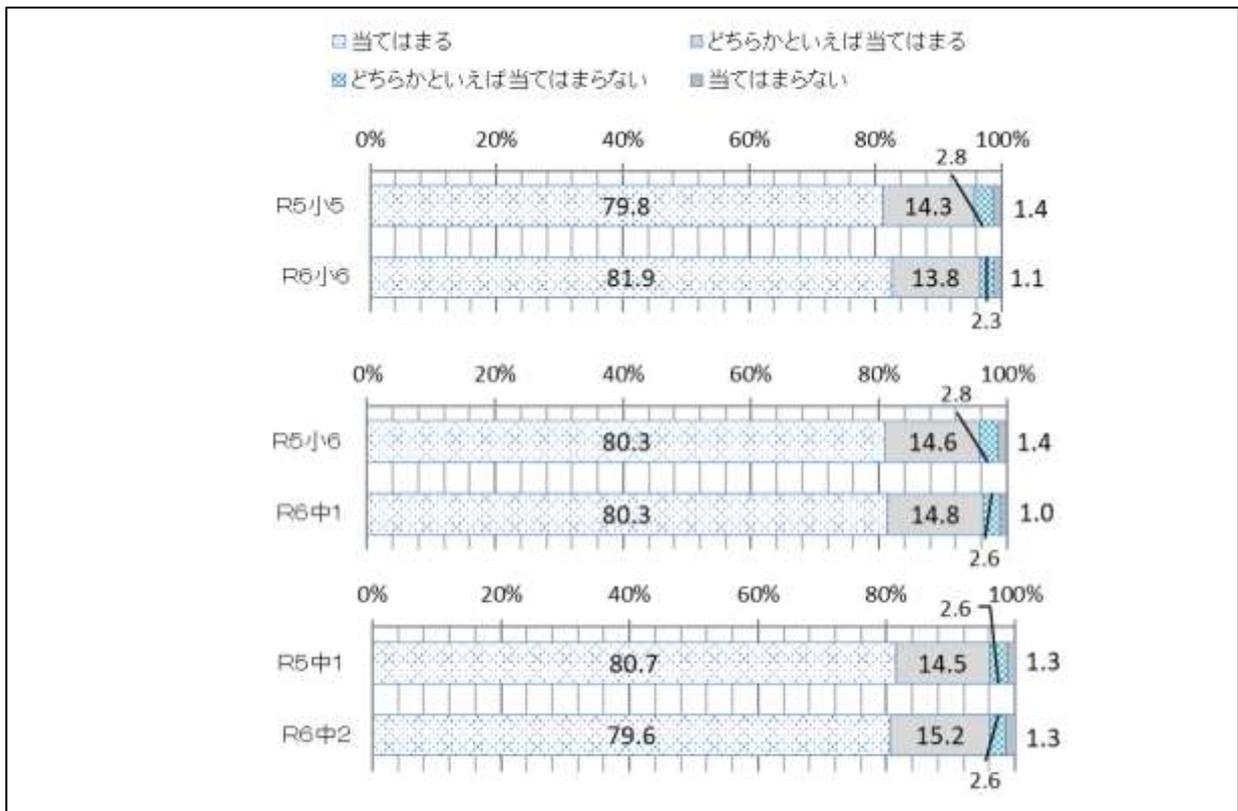
【小：質問23 中：質問24】いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。

△ 全ての学年で約95%が肯定的な回答をしているが、若干、否定的な回答がある。

【今年度調査の結果】



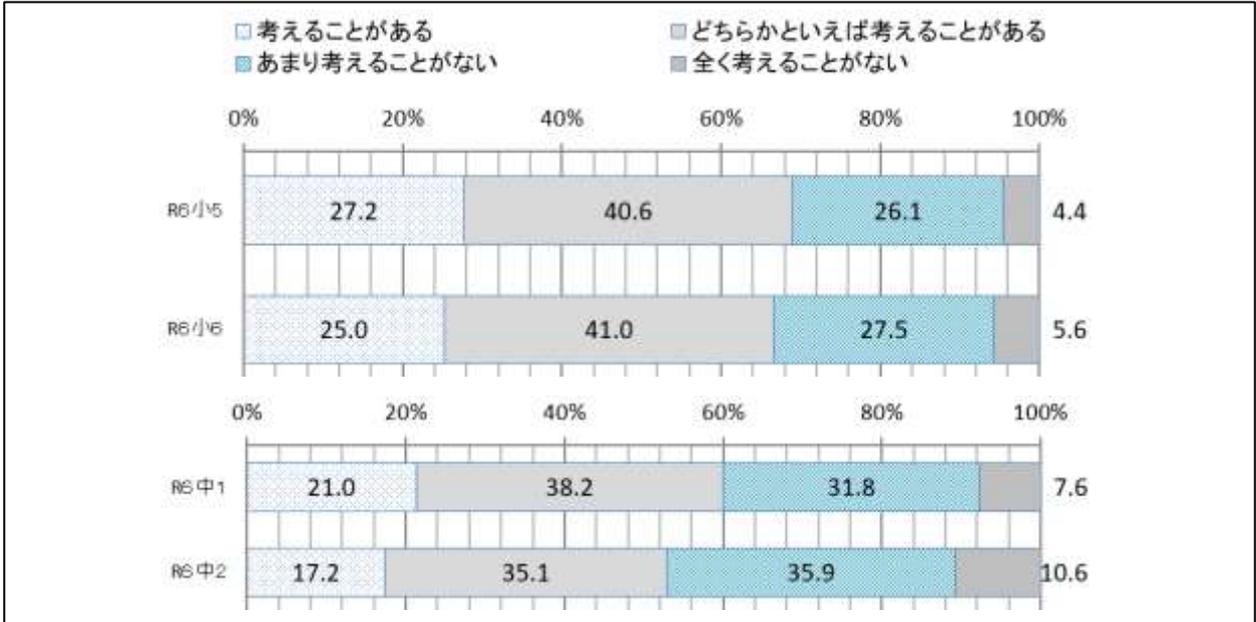
【同一児童生徒の経年比較】



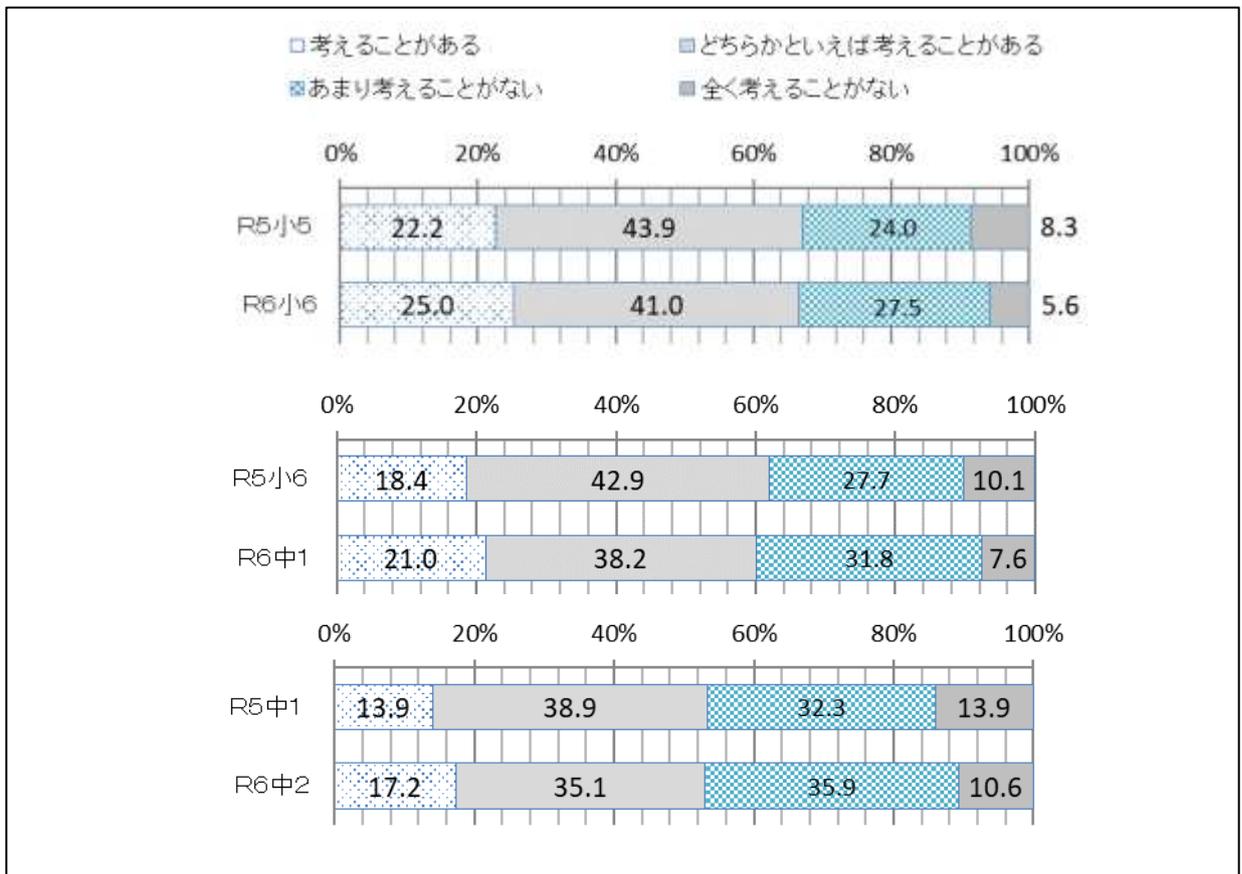
【小：質問24 中：質問25】地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。

● 同一学年で経年変化を見ると、肯定的な回答をした割合が減少している。

【今年度調査の結果】



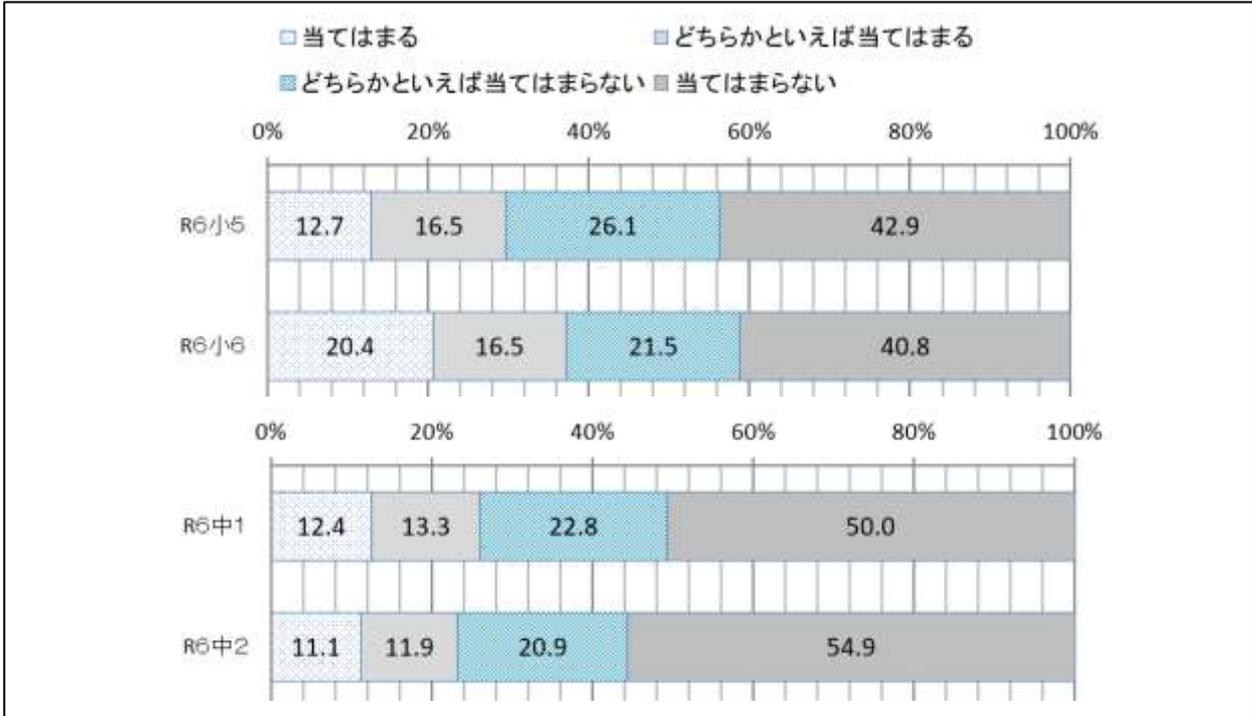
【同一児童生徒の経年比較】



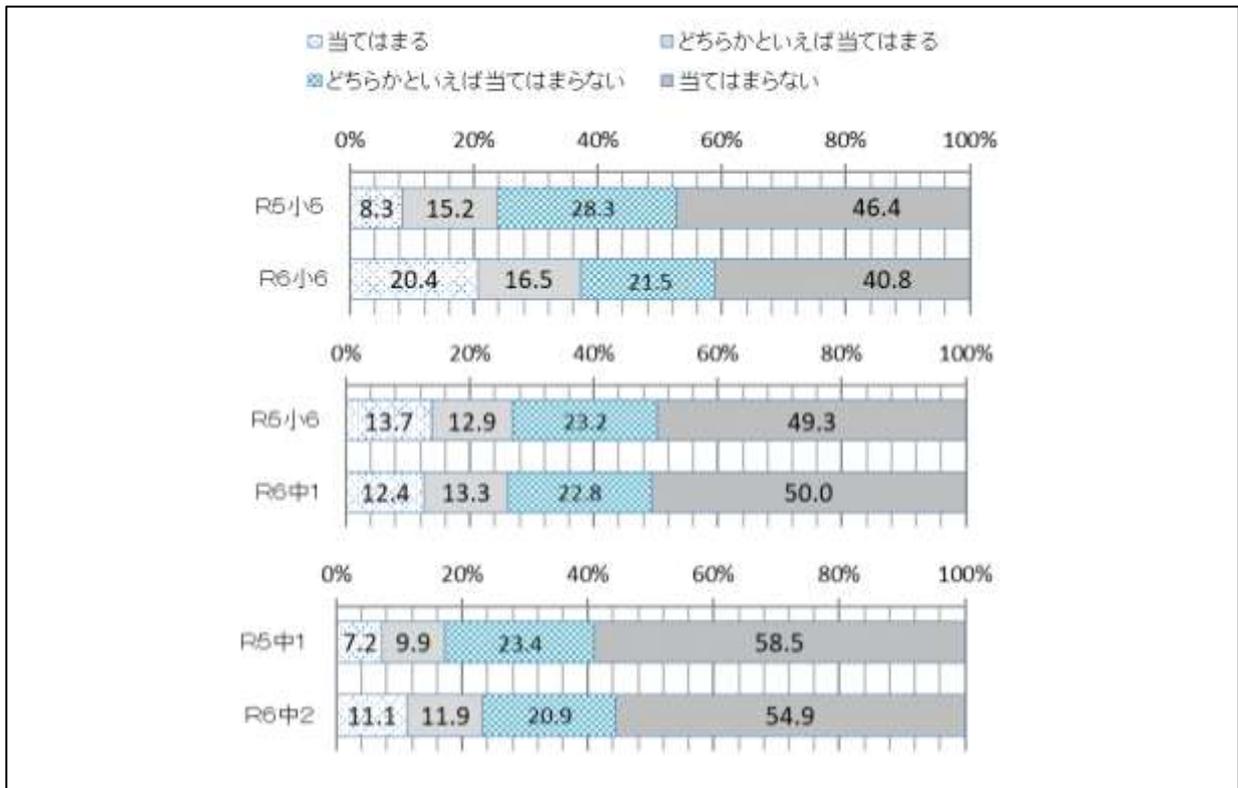
【小：質問25 中：質問26】地域の人々と話し合う場（熟議）に参加して、発言したことがありますか。

△ 同一学年で経年変化を見ると、小6と中2では、肯定的な回答をした割合が増加しているが、中1では減少している。

【今年度調査の結果】



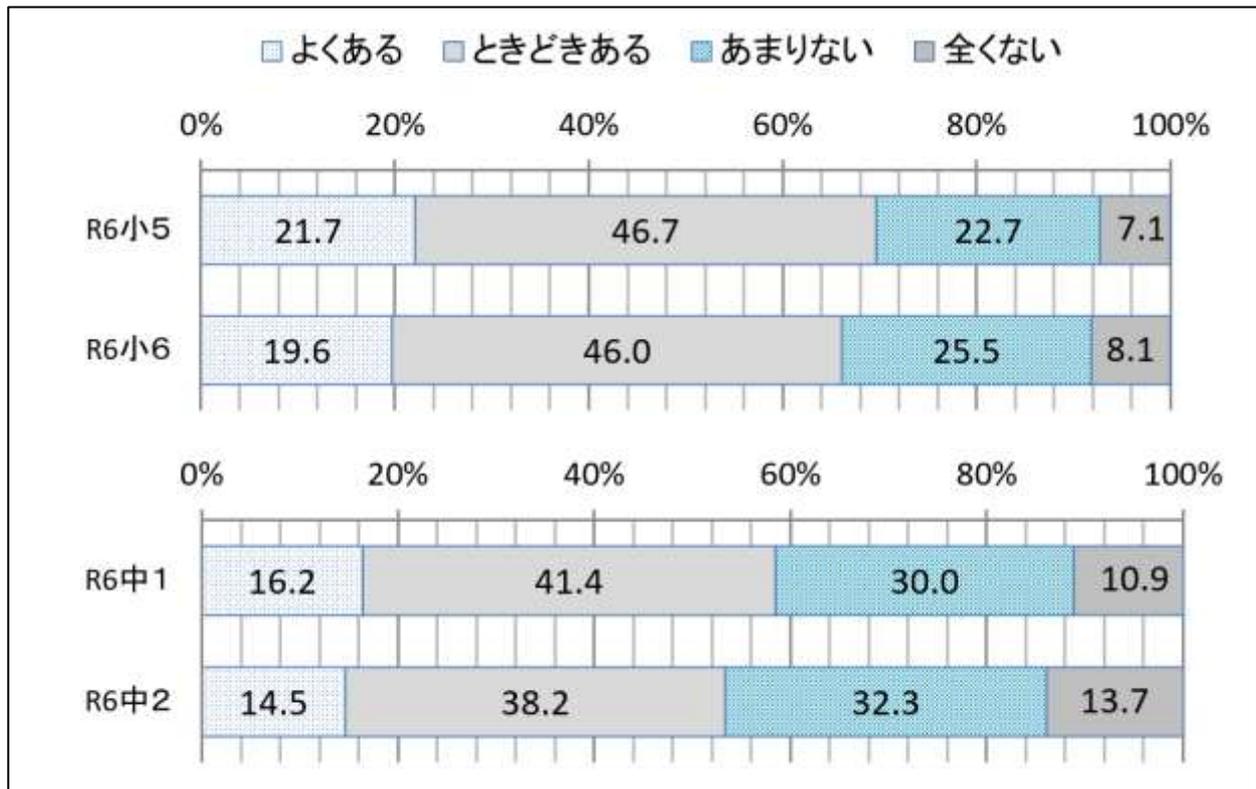
【同一児童生徒の経年比較】



【小：質問26 中：質問27】学校で地域の大人が学ぶ姿を見て、自分も頑張ろうと思ったことがありますか。

△ 全ての学年で、肯定的な回答をした割合が50%を超えているが、学年が上がるにつれて減少している。

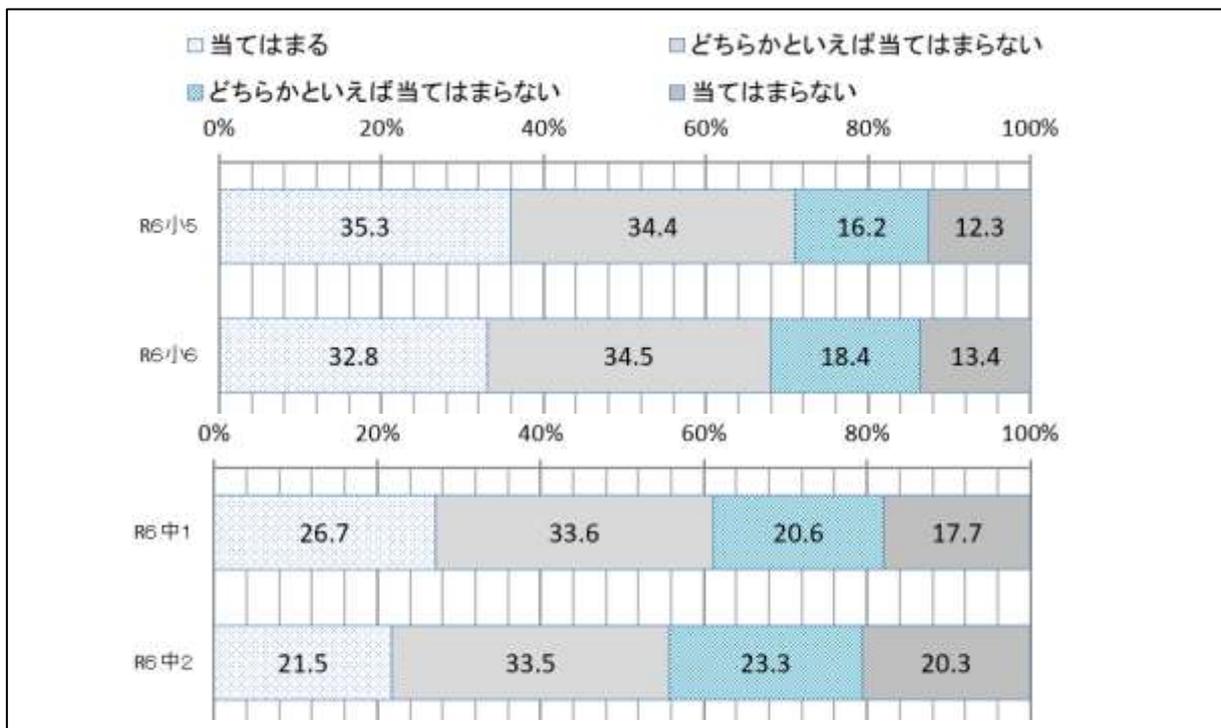
【今年度調査の結果】



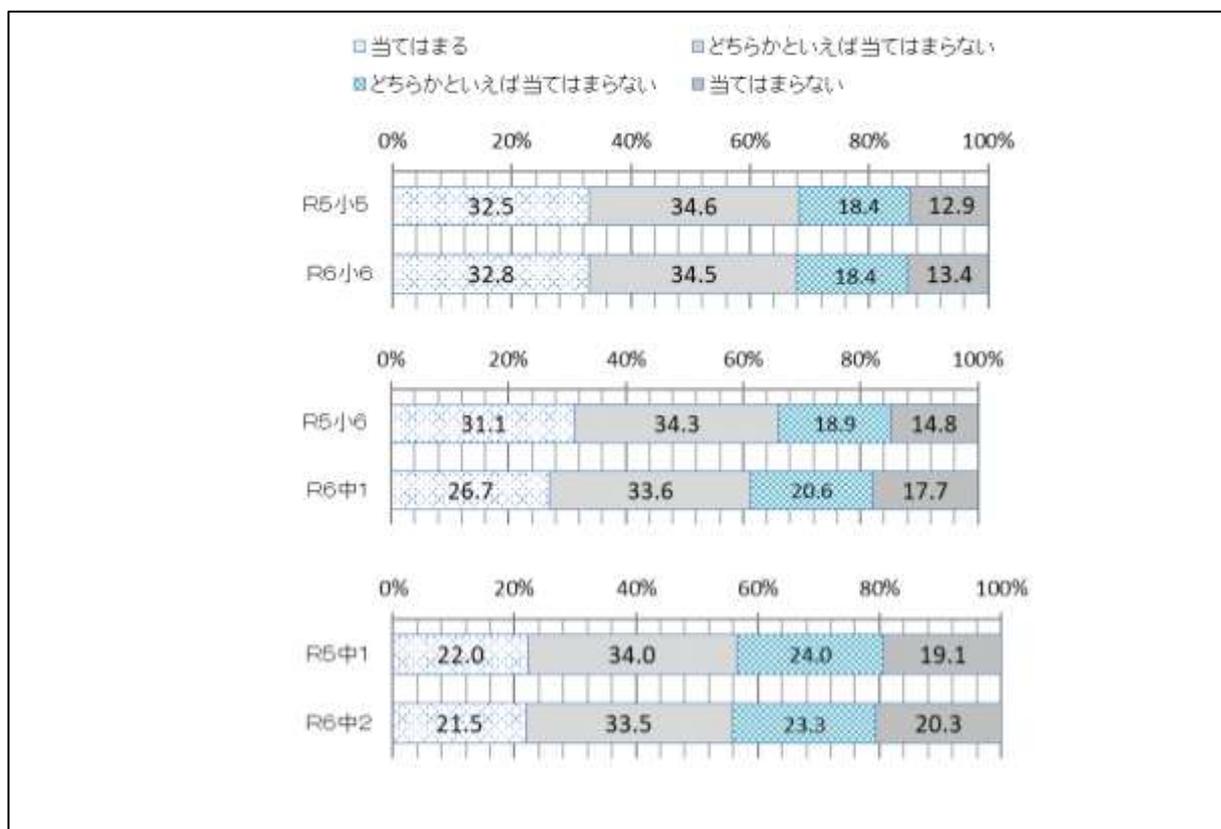
【小：質問27 中：質問28】今住んでいる地域の行事に参加していますか。

- 肯定的な回答をした割合が、学年が上がるにつれて減少している。

【今年度調査の結果】



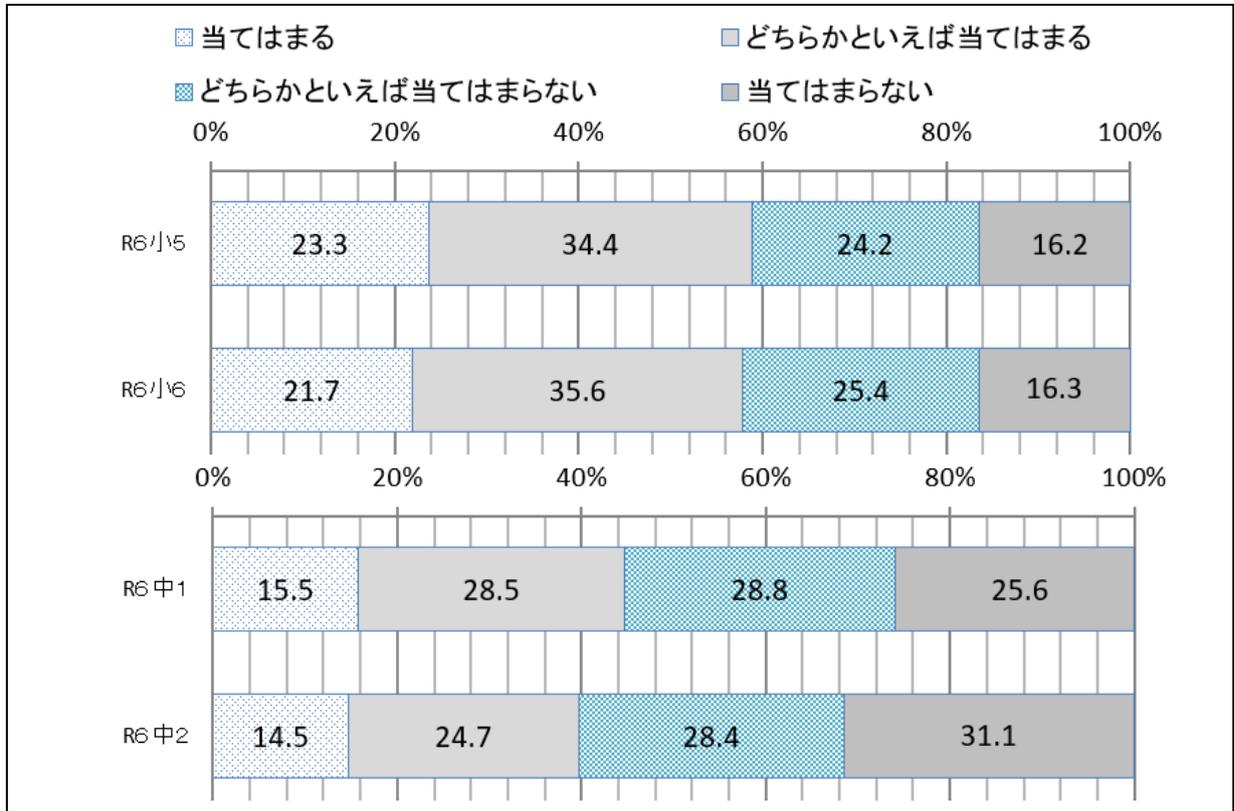
【同一児童生徒の経年比較】



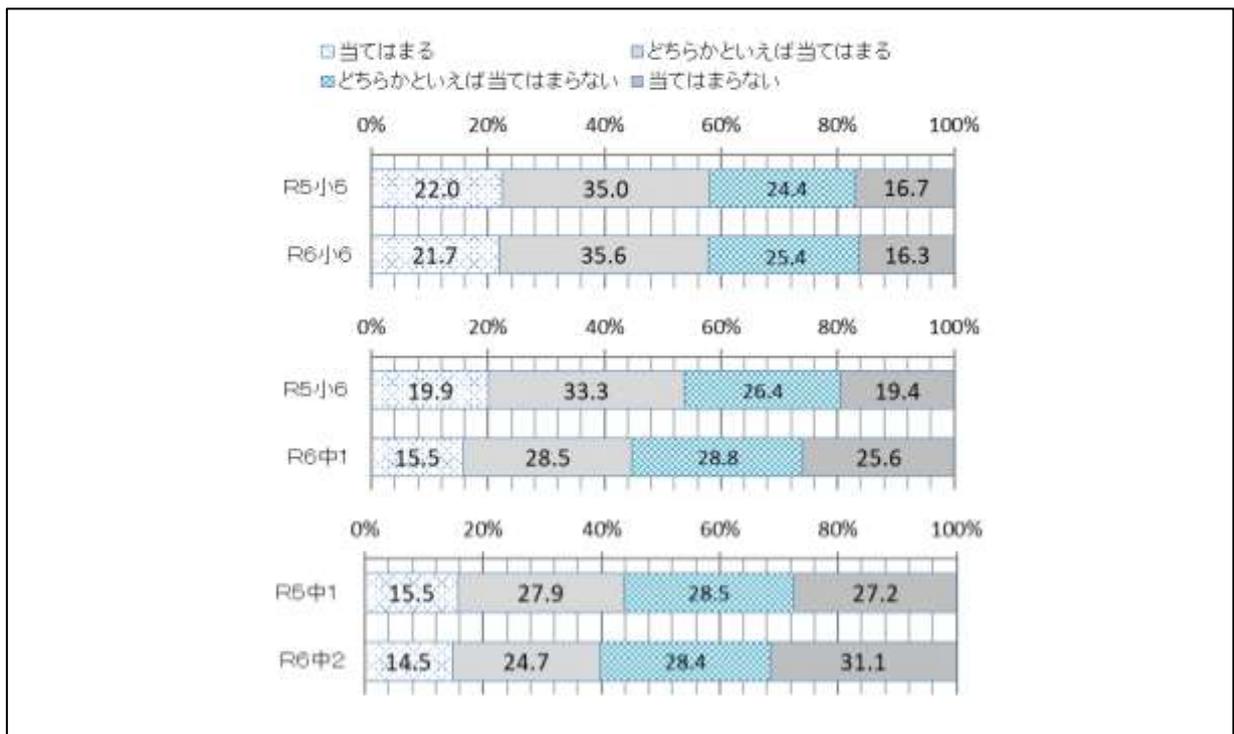
【小：質問28 中：質問29】あなたの学校では、保護者や地域の人々が参加して新体力テストを行うなど、家庭と地域が一緒になって体力向上の取組を進めていますか。

● 同一学年で経年変化を見ると、肯定的な回答をした割合が減少している。

【今年度調査の結果】



【同一児童生徒の経年比較】



#### IV 学力向上に向けた今後の取組

県教委、各市町教委、各学校が連携して、以下の二つに取り組む。

なお、取組を推進する際には、「取組の意義や目的を確認しながら推進すること」「取組の進捗状況を確認すること」を重視する。

- ◆ 「やまぐち型地域連携教育」による家庭や地域との連携・協働を基盤とし、「学校の組織力の充実」「教員の授業力の向上」「学校・家庭・地域の連携力の強化」の三つの視点からの取組を推進するとともに、検証改善委員会からの客観的評価を受け、検証改善サイクルに取り組む。
- ◆ 学習指導要領の趣旨を踏まえた教育活動の更なる充実を図り、児童生徒一人ひとりの確かな学力の定着と向上を図る。

学力向上に関する取組の中で、今回の結果を受けて特に重点をおいて取り組むこと



今回の調査で課題のあった問題を克服することに特化した「やまぐちっ子学習プリント DASH」を提供し、今の学年で身に付けるべきことが着実に身に付くよう支援します。

誤答分析の方法や例を示した資料を提供し、校内研修等において誤答分析ができるよう支援します。

#### 学校の組織力の充実

- 「やまぐち学習支援プログラム」等を効果的に活用したきめ細かな学習指導体制づくり
  - 【学校の取組】全校体制による計画的・継続的な「補充学習」の実施
  - ・「やまぐち学習支援プログラム」を活用した「課題を課題のままにしない」取組の推進
- 全校体制による年間2回の検証改善サイクルの徹底
  - 【学校の取組】子どもたちの誤答に着目した課題把握と解決に向けた組織的な手立ての確立
  - ・各種学力調査等の結果に関するスピード感ある情報提供と全員の学力課題の共有
  - ・誤答分析による課題の焦点化に向けた学校支援
- 学校・家庭・地域によるカリキュラム・マネジメントの推進
  - 【学校の取組】全教職員による「学校・地域連携カリキュラム」の見直し
  - ・「カリキュラム・マネジメントの手引き」の活用促進
  - ・キャリアステージに応じたカリキュラム・マネジメントに関わる研修会の開催

#### 教員の授業力の向上

- 「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざした授業改善
  - 【学校の取組】「引き出したい振り返り」を意識した授業づくり
  - ・授業力向上実践研究校による研究の支援と成果の共有
  - ・学校訪問における指導助言（授業力向上に関する各種資料の周知及び活用促進）
- 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた取組の推進
  - 【学校の取組】リアルな体験を通じた学びと効果的なICTの活用を図る校内研修の実施
  - ・教員や市町教委指導主事等を対象としたICTの活用に関する研修会の開催
  - ・効果的な取組や先進的な事例の横展開
- 教員のキャリアステージに応じた資質向上の推進
  - 【学校の取組】授業力及び教科の専門性等の向上をめざした授業研究
  - ・若手・中堅・管理職を対象とした研修会の開催
  - ・研修成果の還元・普及に向けた支援

#### 学校・家庭・地域の連携力の強化

- 熟議を通じた学習習慣・生活習慣の確立
  - 【学校の取組】児童生徒が参加する学力に関する熟議の開催
  - ・地域や家庭との学力に関する課題共有の促進
  - ・出前講座等による熟議の好事例の横展開
- コミュニティ・スクールを核とした家庭・地域との連携・協働体制の充実
  - 【学校の取組】めざす子どもの姿の実現に向けた地域の教育資源の積極的な活用
  - ・多様な地域資源の活用に向けた情報提供
  - ・地域の人が授業づくりに関わるユニット型研修の推進
  - ・「学校・地域連携カリキュラム」の活用に関する情報提供
- 学校間連携等の充実によるキャリア教育の推進
  - 【学校の取組】身近な大人や先輩の生き方・考え方に触れる機会の充実
  - ・保幼小中が連携・協働した具体的なキャリア教育の実施
  - ・「地域の担い手」の育成をめざした地域貢献活動等の好事例の紹介

子どもが、「めあてに対して何ができるようになったか、分かるようになったか」「次は、どのようなめあてをもって学んでいきたいか」等の視点で学習を振り返りながら資質・能力を高めていく授業づくりについて指導助言を行い、授業改善が図られるよう支援します。

身近な大人や先輩の生き方・考え方に触れる活動の好事例等を紹介し、各学校が実態に応じて工夫して取り組めるよう支援します。

### やまぐち型地域連携教育